

令和 2 年 度

南 幌 町 農 作 物 病 害 虫 ・
雑 草 防 除 ガ イ ド

（ 含 ： 植 物 成 長 調 整 剤 使 用 ガ イ ド ）

発 行

南 幌 町 農 業 指 導 協 議 会
南 幌 町 ・ 南 幌 町 農 業 協 同 組 合

お問い合わせ先

南 幌 町 農 業 協 同 組 合 営 農 部 資 材 課
空 知 農 業 改 良 普 及 セ ン タ ー 空 知 南 西 部 支 所

- ◇安 全 性 の 高 い 、 良 質 ・ 良 食 味 の 農 産 物 を 生 産 し よ う
- ◇病 害 虫 は 早 期 発 見 ・ 適 正 防 除 で 低 コ ス ト を 目 指 そ う
- ◇農 薬 の 保 管 は 鍵 の か か る 場 所 に 保 管 し よ う

農薬安全使用のための13ヶ条

1. 農薬を使う前に必ずラベル(説明書)をよく読み、対象作物、使用濃度・量・時期・回数などの使用基準を守り、ラベルの記載内容以外には使用しないこと。
2. 病後、疲労しているときなど体調の優れない状態、特異体質、妊娠中の人は、散布作業に従事しないこと。
3. 散布作業の現場には、子供その他関係者以外の人が近づかないよう、必要に応じ立て札を立てるなどの配慮をするとともに、周辺圃場、居住人、通行人などに飛散しないよう十分注意すること。
4. 散布液の調製や散布作業には、農薬を浴びないように、必ず農薬用マスク、不浸透性手袋、保護メガネを着用し、専用の防除衣、帽子、長靴などを用いて露出部分を少なくすること。
5. 防除機具は、事前に十分整備・点検を行っておくこと。
6. 散布作業は熱い日中を避けて、風の強くない、朝夕の涼しい時を選び、一人で長時間の連続散布作業はしないこと。
7. 散布作業中の喫煙・飲食は避け、作業後は必ず石鹸で顔や手足をよく洗い、うがい・洗眼をし、作業衣は速やかに着替えること。
8. 散布中や散布後に、めまい、吐き気など体に異常を感じたら、直ちに医師の診断を受けること。
9. 使った容器や防除機具などはただちに洗浄、残った散布液や洗浄液は、用水や河川などに流れ込んだり、井戸水を汚染したりする恐れがなく、また作物を植えることがない場所を選び、土にしみこませるよう処分すること。
10. 地域住民や飼養動物(家畜、魚、蚕、ミツバチなど)に中毒事故や危被害が起きたり、他作物に飛散したり、薬害が出た場合は速やかに周辺住民、最寄りの警察署、保健所等の関係各方面に連絡をとり対策を講ずること。
11. 農薬の使用状況を帳簿に記載、使用した年月日、場所、農作物、農薬名、使用量・希釈倍数などを記録しておくこと。
12. 使い残した農薬は、密栓・密封して、湿度や温度の高い所を避け、農薬専用の保管庫に収納し、必ずカギをかけて、子供などの手の届かないところに保管すること。
13. 空袋、空びんなどの空容器は、残った農薬を適正に除去し、廃棄物処理業者に委託するなど、適切に処分すること。

農作物病害虫防除ガイド・雑草防除ガイド目次

項	目	ページ	項	目	ページ
農薬安全使用のための13ヶ条		表紙裏			
1	水稻防除ガイド	1	資料(1)	無人ヘリコプター散布用農薬	23
(1)	種子消毒・殺菌剤	1	資料(2)	速度連動式地上液剤少量散布用農薬(パンクル)	23
(2)	殺虫剤	1			
(3)	殺菌・殺虫剤	2	8	水稻除草剤・成長調整剤使用ガイド	24～25
2	小麦(秋小麦・春小麦)防除ガイド	3	9	畑作除草剤・成長調整剤使用ガイド	26～27
3	大豆防除ガイド	4	10	野菜類除草剤・成長調整剤使用ガイド	28～29
4	小豆防除ガイド	5			
5	そば防除ガイド	5	11	果樹類防除ガイド(マイナー作物グループ化)	30
6	てんさい防除ガイド	6	(1)	果樹類・共通「作物指定無し」	30
7	野菜類防除ガイド	7	(2)	小粒核果類	30
(1)	キャベツ	7～8	(3)	ブルーベリー	30
(2)	フロッコリー	9	(4)	果樹類・自家用果樹・一般的な使用農薬一覧	31
(3)	たまねぎ	10			
(4)	ねぎ	11～12	12	花き類(花き類・観葉植物)防除ガイド	32
(5)	軟白ねぎ	13		くきく、ばら、花ゆり、デルフィニューム等切り花、シクラメン、ペゴニア等鉢物>	32
(6)	ピーマン	14			
(7)	はくさい	15	13	樹木類防除ガイド	33
(8)	だいこん	16		くさくら、もみじ、ライラック、まつ、ぼけ、等樹木類>	33
(9)	ばれいしょ	16			
(10)	トマト	17		農薬散布の基本技術	裏表紙裏
(11)	ミニトマト	17			
(12)	なす	18			
(13)	きゅうり	18			
(14)	かぼちゃ	19			
(15)	ほうれんそう	19			
(16)	にんにく	19～20			
(17)	アスパラガス	20			
(18)	しそ	20			
(19)	未成熟そらまめ	20			
(20)	さやいんげん	21			
(21)	未成熟とうもろこし(スイートコーン)	21			
(22)	すいか	22			
※本書に記載の内容は令和2年1月31日時点の登録内容となっております。農薬使用時には必ずラベルの登録内容を確認し、登録内容に従って正しく農薬を散布しましょう。					

1. 水 稻 防 除 ガ イ ド

(1)種子消毒・殺菌剤

※反当薬価はJAなんぼろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

ピュアライス栽培で使用する農薬は、別途栽培基準の防除体系とする。

農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	ピュアリス R2年度 統一薬剤	系統名	毒性・ 魚毒性	苗立枯病	ばか苗病	褐条病	苗立枯細菌病	いもち病	使用時期・回数	処理濃度・量
	(温湯消毒)		☆	—	—	●	●	—	●	●	浸種前乾籾：1回(種子消毒)	60℃10分間/直後冷却
	必要時・・食酢による補完防除		☆	(特定防除資材)	—	—	—	(●)	—	—	ハト胸催芽器による出芽時に食酢「穀物酢：酸度4.2%」を2%(50倍液)混入する	
18601	テクリードCフロアブル	—	☆	DMI+銅	普・B	●	●	●	●	●	浸種前：1回	200倍24時間(種子消毒・浸漬処理)
20889	ベンレート水和剤(玄米感染種子消毒)	—		MBC	普・B	—	●	—	—	●	播種前：1回	500～1,000倍24時間(種子消毒・浸漬処理)
20889	ベンレート水和剤(玄米感染種子消毒)	—		MBC	普・B	●	—	—	—	●	播種時～播種7日後頃：2回	1,000倍(マツ500ml/箱、ホット300ml/箱灌注)
21298	ブイゲットフロアブル	1,170～2,339		チアジアゾールカルボキシミド*	普・B	—	—	—	—	●	移植3日前～移植当日：1回	25～50倍(マツ500ml/箱、ホット300ml/箱灌注)
22701	ルーチン粒剤(水面施用の登録も有)	—		チアジアゾールカルボキシミド*	普・A	—	—	—	—	●	播種時(覆土前)～移植当日：1回	50g/箱・散粒(床土混和も可)
23195	ルーチンフロアブル	2,351～3,144		チアジアゾールカルボキシミド*	普・A	—	—	—	—	●	移植3日前～移植当日：1回	75～100倍(マツ500ml/箱、ホット300ml/箱灌注)
23186	スタウト顆粒水和剤	2,351		チアジアゾールカルボキシミド*	普・A	—	—	—	—	●	は種時覆土前～移植当日：1回	200倍(マツ500ml/箱、ホット300ml/箱灌注)
22898	タチガレエースM粉剤	298～397		フェニルアミド+芳香族ヘテロ環	普・A	●	ムレ苗防止、根の生育促進●				播種前：1回	6～8g/箱(土壌混和)
22899	タチガレエースM液剤	148～296		フェニルアミド+芳香族ヘテロ環	普・A	●	ムレ苗防止、根の生育促進、活着促進●				播種時・発芽後：1回	500～1,000倍(500ml/箱・灌注)
19065	コラトップ1キロ粒剤12	2,255～3,383		マニン生合成阻害	普・A	—	—	—	—	●	葉いもち：初発10日前～初発時：2回	1～1.5kg/10a(水面施用)
23889	コラトップ豆つぶ	2,821～4,232		マニン生合成阻害	普・A	—	—	—	—	●	葉いもち：初発10日前～初発時：2回	250～375g/10a(水面施用)
23172	コラトップジャンボP	3,058～3,975		マニン生合成阻害	普・A	—	—	—	—	●	葉いもち：初発20日前～初発時：2回	500～650g(10～13ﾊﾟｯｸ)/10a(水面施用)
7290	カスミン液剤	178		抗生物質	普・A	—	—	—	—	●	穂揃期まで：2回	1,000倍
19165	ブラシソフロアブル	440		フェリムゾン+フサライド*	普・A	褐条病●	穂枯れ(ごま葉枯病菌●)			●	7日前：2回	1,000倍
21691	ビームゾル(パンクル)	320		マニン生合成阻害	劇・A	—	—	—	—	●	7日前：4回(本田3回以内)	300倍、25L/10a(少量散布)
21817	ビームエイトゾル(無人ヘリ)	202～323		マニン生合成阻害	普・A	—	—	—	—	●	7日前：4回(本田3回以内)	5～8倍、0.8L/10a(無人ヘリ散布)
17949	ブラシン粉剤DL	1,171～1,561		フェリムゾン+フサライド*	普・B	変色米●	穂枯れ(ごま葉枯病菌●)			●	7日前：2回	3～4kg/10a

注意事項 * テクリードCによる種子消毒は、浸種前に行い消毒は水洗いせずに浸種する(風乾の必要無)。また、消毒液の温度は10～12℃程度とし極端な低温は避ける。

* 温湯消毒・薬剤消毒ともに、種子消毒後の種子は、二次感染の無いよう十分な注意が必要である。

* 播種前床土混和は使用濃度が高すぎたり、使用量が多すぎると一時、初期生育が抑制されるので十分注意する。

* ブラシンは、幼植物の大豆、小豆、いんげん豆にかかると薬害を生ずる事があるので注意する。

* ビームは野菜類の幼苗にかかると薬害を生じることがあるので十分注意する。

* 温湯消毒の補完防除には、「木酢」「クエン酸」は未検討であるので使用しない。

* 食酢液を作ってから種籾を入れる。1度使用した食酢液は、再使用しない。

* バズ、キラップ、ルーチン、スタウト、ブイゲットは苗床用液肥との混用は避け、近接散布を行う場合は液肥→殺虫・殺菌剤の順とする。

☆：ピュアリス用防除剤はR2年2品種(ななつぼし・きたくりん)とも同じ。

(2) 殺虫剤

農薬番号	農 薬 名	反当薬価 (円/10a)	ピュアリス R2年度 統一薬剤	系統名	毒 性 ・ 魚 毒性	ム イ ネ ド ロ オ イ	ム イ ネ ミ ズ ゾ ウ	カ ヒ メ ト ビ ウ ン	フ タ オ ビ コ ヤ ガ	カ メ ム シ	使用時期・回数	処理濃度・量
11188	パダン粒剤4	770～1,027	☆ ☆	ネライストキシン	劇・Bs	●	●	—	—	—	播種前：1回（床土混和）	稚・中苗 60～80g/マツ・ポツ
20342	アドマイヤー顆粒水和剤	511～1,022		ネオニコチノイド*	劇・A	●	●	●(500倍)	—	—	移植2日前～移植当日：1回	500～1,000倍（0.5L/マツ、0.3L/ポツ・灌注）
20798	ダントツ水溶剤	476～952		ネオニコチノイド*	普・A	●	●	●(200倍)	●(200倍)	—	移植3日前～移植当日：1回	200～400倍（0.5L/マツ、0.3L/ポツ・灌注）
21471	キラップフロアブル	720～1,440		フェニルピラゾール	普・A	●	—	—	—	—	移植3日前～移植当日：1回	100～200倍（0.5L/マツ、0.3L/ポツ・灌注）
23841	バズ顆粒水和剤	1,211		ジァミド*	普・B	●	●	—	●	—	播種時（覆土前）～移植当日：1回	1,000倍（0.5L/マツ、0.3L/ポツ・灌注）
23751	アプライパディート粒剤（殺虫殺菌）	4,649		ジァミド*+チアジメトキシカルボキサミド*	普・A	●	●	—	●	いもち病●	播種時覆土前：1回	50g/マツ、30g/ポツ
23570	スタウトパディート箱粒剤（殺虫殺菌）	4,828		ジァミド*+チアジメトキシカルボキサミド*	普・A	●	●	●	●	いもち病●	播種時（覆土前）～移植当日：1回	50g/マツ、30g/ポツ
22560	フェルテラ箱粒剤	3,812		ジァミド*	普・B	●	●	—	●	—	播種時覆土前～移植当日：1回	50g/マツ、30g/ポツ
22760	プリンス粒剤	3,766		フェニルピラゾール	普・B	●	●	●	●	—	播種時（覆土前）～移植当日：1回	50g/マツ、30g/ポツ
18950	パダンSG水溶剤	660～1,320		ネライストキシン	劇・Bs	●	●(200g)	—	—	—	移植時：1回	100～200g/10a（ペースト側条施肥混和）

※ 苗箱処理剤は中苗マツ10a当たり35枚として薬価を算出。

2. 小麦(秋小麦・春小麦)防除ガイド

※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

[illegible]

3. 大豆防除ガイド

※反当薬価はJAなんぼろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	系統名	毒性・ 魚毒性	べと病	茎疫病	菌核病	灰色かび病	紫斑病	タネバエ	アブラムシ類	ツメクサガ	マメシクイガ	カメムシ類	ハダニ類	適正使用基準	倍率・使用量
20604	キヒゲンR-2フロアブル	－	ジチオカーバメート	普・C	－	苗立枯病●			●	●	－	－	ハト・カラス●		播種前：1回（原液種子塗沫） 播種前：1回（種子粉衣） 播種前：1回（原液種子塗沫） 播種時：1回（原液種子塗沫） 播種前：1回（原液種子塗沫）	20ml/種子1kg *チウラム80とは併用しない	
22687	チウラム80	－	ジチオカーバメート	普・C	－	立枯病●			－	－	－	－	－	－		2～5g/種子1kg *キヒゲンとは併用しない	
20624	ランマンフロアブル	－	Qil	普・A	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－		種子重量の1～2％	
21409	クルーザーFS30	－	ネオニコチノイド*	普・A	－	－	－	－	－	●	●	ネキリ・ハムシ●		－		6ml/種子1kg（処理乾燥後にチウラムまたはキヒゲン）	
22917	クルーザーMAXX	－	ネオニコチノイド*+PP+PA	普・B	苗立枯・茎疫・根腐各病●				●	●	●	ネキリ・ハムシ●		－		8ml/種子1kg（チウラム80との併用は不要）	
22634	ダイアジノン粒剤5	2,104～3,156	有機リン	普・Bs	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	30日前：5回 播溝施用	4～6kg/10a
20574	アミスター20フロアブル	511～765	QoI	普・B	●	腐敗粒●			●	－	－	－	－	－	－	7日前：2回	2,000倍（紫斑病 2,000～3,000倍）
23919	オルフィンフロアブル	1,021	SDHI	普・A	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	7日前：3回	2,000倍
22582	グリーンペンコゼブ水和剤	281	ジチオカーバメート	普・B	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	45日前：3回	400倍
22345	ジマンダイセン水和剤	314～470	ジチオカーバメート	普・B	●	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	45日前：3回	400倍（紫斑病 400～600倍）
14498	スミレックス水和剤	620～1,241	ジカルボキシイミド*	普・A	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	21日前：4回	1,000～2,000倍
11574	トップジンM水和剤	322～690	MBC	普・A	－	－	●	－	●	－	－	－	－	－	－	14日前：4回	700～1,000倍(紫斑病1,000～1,500倍)
23102	ファンタジスタ顆粒水和剤	509～1,018	QoI	普・B	－	－	●	－	●	－	－	－	－	－	－	7日前：3回	2,000倍（紫斑病 2,000～4,000倍）
19510	フェスティバルC水和剤	779	CAA+無機銅	普・B	●	●	斑点細菌病●		●	－	－	－	－	－	－	7日前：3回	600倍
21954	プロポーズ顆粒水和剤	576	CAA+クロロトリル	普・C	●	●	－	－	●	－	－	－	－	－	－	21日前：2回	1,000倍
22397	ベトファイター顆粒水和剤	511～766	CAA+シアノアセトアミドオキシム	普・A	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7日前：2回	2,000倍（べと病 2,000～3,000倍）
20624	ランマンフロアブル	411～821	Qil	普・A	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7日前：3回	1,000～2,000倍
22772	リドミルゴールドMZ	1,008	ジチオカーバメート+PA	普・B	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	45日前：3回	500倍
22379	レーバスフロアブル	281～562	CAA	普・A	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7日前：3回	1,500～2,000倍(べと病 1,500～3,000倍)
14212	ロブラール水和剤	1,155	ジカルボキシイミド*	普・A	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	21日前：3回	1,000倍
5623	エルサン乳剤	316	有機リン	劇・Bs	－	－	－	－	－	－	●	●	●	●	－	7日前：2回	1,000倍（アブラムシ 1,000～2,000倍）
21812	ウララDF	224～447	ピリジンカルボキサミド*	普・A	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	7日前：2回	2,000～4,000倍
20406	ゲットアウトWDG	253	合ピレ	劇・C	－	－	－	－	－	－	●	－	●	－	－	7日前：3回	3,000倍
18406	コロマイト乳剤	629	マクロライト*	普・C	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	7日前：2回	1,500倍
13426	トクチオン乳剤	660	有機リン	普・B	－	－	－	－	－	－	●	●	●	●	●	30日前：3回	1,000倍（マメシクイガ・ハダニ 1,000～1,500倍）
17167	トレボン乳剤	848	合ピレ	普・B	－	－	－	－	－	－	●	●	●	●	－	14日前：2回	1,000倍
17106	バイスロイド乳剤	243～485	合ピレ	劇・C	－	－	－	－	－	－	●	－	●	●	－	7日前：3回	1,000～2,000倍（アブラムシ 2,000倍）
22465	プレバソンフロアブル5	369	ジアミド*	普・B	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	7日前：2回	4,000倍
20641	モスピランSL液剤	307～615	ネオニコチノイド*	劇・A	－	－	－	－	－	－	●	－	●	●	－	14日前：3回	2,000～4,000倍（アブラムシ 4,000倍）
注 意 事 項																	
* わい化病は、生育初期のアブラムシ（ジャガイモヒゲナガアブラムシ）の防除が重要。																	
* マメシクイガは、開花始期から10～14日後に1回目の防除を実施し、2回目の防除は1回目防除の10日後に実施する。																	
* スミレックス水和剤は、あぶらな科作物に薬害を生じる恐れがあるので飛散に注意する。																	
																散布前にラベルの内容を確認しよう	

4. 小豆防除ガイド

※反当薬価はJAなんぼろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	系統名	毒性・ 魚毒性	褐斑細菌病	茎疫病	炭疽病	さび病	菌核病	灰色かび病	タネバエ	アブラムシ類	アズキノメイガ	ツメクサガ	ハダニ類	適正使用基準	倍率・使用量
22687	チウラム80	－	ジチオカーバメート	普・C	立枯病●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	播種前：1回（種子粉衣）	2～5g/種子1kg *キヒゲンとは併用しない
20604	キヒゲンR-2フロアブル	－	ジチオカーバメート	普・C	苗立枯病・褐斑病●	●	－	－	－	－	●	－	－	ハト・カラス●		播種前：1回（原液種子塗沫）	20ml/種子1kg *チウラム80とは併用しない
21409	クルーザーFS30	－	ネオニコチノイド*	普・A	－	－	－	－	－	－	●	●	－	－	－	播種前：1回（種子塗沫）	6ml/種子1kg （処理乾燥後にキヒゲン）
22917	クルーザーMAXX	－	ネオニコチノイド*+PP+PA	普・B	－	●	－	－	－	－	●	●	－	－	－	播種前：1回（原液種子塗沫）	8ml/種子1kg （チウラム80との併用は不要）
22634	ダイアジノン粒剤5	2,104	有機リン	普・Bs	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	播種時：1回（播溝施用）	4kg/10a
20574	アミスター20フロアブル	765	QoI	普・B	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	7日前：3回	2,000倍
23919	オルフィンフロアブル	1,021	SDHI	普・A	－	－	－	－	●	●	－	－	－	－	－	7日前：3回	2,000倍
14625	カスミンボルドー	407	抗生物質+無機銅	普・B	●	－	茎腐細菌病●		－	－	－	－	－	－	－	30日前：3回	1,000倍
15744	カッパーシン水和剤	407	抗生物質+無機銅	普・B	●	－	茎腐細菌病●		－	－	－	－	－	－	－	30日前：3回	1,000倍
21468	カンタスドライフロアブル	851～1,276	SDHI	普・A	－	－	－	●	●	●	－	－	－	－	－	7日前：3回	1,000～1,500倍（さび病 1,500倍）
17697	ゲッター水和剤	1,002～1,503	MBC+フェニルカーバメート	普・A	輪紋病●	－	●	－	●	●	－	－	－	－	－	14日前：4回	1,000～1,500倍（菌核病 1,000倍）
22345	ジマンダイセン水和剤	314～470	ジチオカーバメート	普・B	－	●	－	●	－	－	－	－	－	－	－	30日前：3回	400倍（茎疫病 400～600倍）
14498	スミレックス水和剤	620～1,241	ジカルボキシミド*	普・A	－	－	－	－	●	●	－	－	－	－	－	21日前：2回	1,000倍（菌核病 1,000～2,000倍）
23102	ファンタジスタ顆粒水和剤	1,018	QoI	普・B	－	－	●	●	●	●	－	－	－	－	－	7日前：3回	2,000倍
19510	フェスティバルC水和剤	779	CAA+無機銅	普・B	●	●	茎腐細菌病●		－	－	－	－	－	－	－	7日前：3回	600倍
22631	フロンサイドSC	548～1,096	ピリジナミン	普・C	－	－	●	－	●	●	－	－	－	－	－	21日前：3回	1,000～2,000倍（菌核病 1,000倍）
20624	ランマンフロアブル	821	Qil	普・A	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7日前：3回	1,000倍
22772	リドミルゴールドMZ	1,008	ジチオカーバメート+PA	普・B	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	30日前：3回	500倍
22379	レーパスフロアブル	421～562	CAA	普・A	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7日前：3回	1,500～2,000倍
5623	エルサン乳剤	158～316	有機リン	劇・Bs	－	－	－	－	－	－	－	●	●	－	－	7日前：2回	1,000倍（アブラムシ1,000～2,000倍）
20406	ゲットアウトWDG	253	合ピレ	劇・C	－	－	－	－	－	－	－	●	●	－	－	7日前：3回	3,000倍
18406	コロマイト乳剤	471～943	マクロライト*	普・C	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	14日前：2回	1,000～2,000倍
4962	スミチオン乳剤	136～272	有機リン	普・B	－	－	－	－	－	－	－	●	●	マダシクイガ*●		21日前：4回（少量散布あり）	1,000倍（アブラムシ1,000～2,000倍）
17801	ダニトロンフロアブル	468～936	METI	普・C	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	7日前：1回	1,000～2,000倍
13426	トクチオン乳剤	660	有機リン	普・B	－	－	－	－	－	－	－	－	●	●	●	30日前：2回	1,000倍
16754	トレボン粉剤DL	1,503	合ピレ	普・B	－	－	－	－	－	－	－	●	●	マダシクイガ*●		14日前：2回	4kg/10a
17167	トレボン乳剤	848	合ピレ	普・B	－	－	－	－	－	－	－	●	●	マダシクイガ*●		14日前：2回	1,000倍
17106	バイスロイド乳剤	243	合ピレ	劇・C	－	－	－	－	－	－	－	●	●	－	－	7日前：3回	2,000倍
18345	ピラニカEW	493～986	METI	劇・C	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	7日前：1回	1,000～2,000倍
20641	モスピランSL液剤	307～615	ネオニコチノイド*	劇・A	－	－	－	－	－	－	－	●	●	－	－	14日前：3回	2,000倍（アブラムシ2,000～4,000倍）
注 意 事 項																	
* スミレックス水和剤は、あぶらな科作物に薬害を生じる恐れがあるので飛散に注意する。					* スミチオン乳剤は、少量散布の登録がある。												
* ダイアジノン粒剤5は、コガネムシ類幼虫で登録あり。					* さび病は連作で多発傾向となる。												
* ダニ剤は特に発生初期の防除を厳守する。					* ジマンダイセン水和剤は、茎疫病で6/下～8/中、さび病で7/上～8/中とする。												
散布器具はきれいに洗浄しましょう																	

5. そば防除ガイド

農 薬 番 号	農 薬 名	反当薬価 (円/10a)	系統名	毒性 ・ 魚毒性	立 枯 病	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	適正使用基準	倍率・使用量
16886	リゾレックス粉剤	9,696	芳香族炭化水素	普:A	●	－										播種前:1回 (全面土壌混和)	20kg/10a
18999	ロムダンフロアブル	361	IGR	普:A	－	●										21日前:2回	2,000倍
19616	ゼンターリ顆粒水和剤	470	BT(アイザワイ系)	普:A	－	●										前 日:一(発生初期)	2,000倍

6. て ん さ い 防 除 ガ イ ド

※反当薬価はJAなんぼろR2農業年度当用価格(税込)より算出。

農 薬 番 号	農 薬 名	反当薬価 (円/10a)	系統名	毒性 ・ 魚毒性	苗 立 枯 病	根 腐 病	葉 腐 病	褐 斑 病	ア ブ ラ ム シ	ム テ ン サ イ ト ビ ハ	ヨ ト ウ ガ	カ メ ノ コ ハ ム シ	ハ ナ ン サ イ エ モ グ リ	リ ア バ シ グ ロ ハ モ グ	適正使用基準	倍率・使用量
22600	リゾレックスH粉剤	－	AH+芳香族ヘテロ環	普・A	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	播種前：1回（播種前50～100g/7L/6冊突起板覆土混和、100～150g/20L/6冊覆土混和）	
10332	タチガレン液剤	－	芳香族ヘテロ環	普・A	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	播種時～生育初期・収穫120日前：3回	500～1,000倍（3L/㎡灌注）
17386	バリダシン液剤5	－	抗生物質	普・A	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	育苗中期：1回	400倍（3～6L/㎡灌注）
20672	アクタラ顆粒水溶剤	－	ネオニコチノイド*	普・A	－	－	－	－	●	●	－	●	●	－	定植前：1回（苗床灌注）	50～200倍（1L/1冊,又は3L/㎡灌注）
20813	スタークル顆粒水溶剤	－	ネオニコチノイド*	普・A	－	－	－	－	●	●	－	●	●	－	移植前：1回	100～200倍（5L/6冊灌注）
20798	ダントツ水溶剤	－	ネオニコチノイド*	普・A	－	－	－	－	●	●	－	●	●	－	定植前：1回（苗床灌注）	100～200倍（1L/冊灌注・3L/㎡）
20574	アミスター20フロアブル	765～2,041	QoI	普・B	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	14日前：3回	1,500～4,000倍（水量200L/10a）
14625	カスミンボルドー	407～508	抗生物質+無機銅	普・B	－	－	－	●	－	斑点病・斑点細菌病●			－	－	7日前：5回（少量散布 200倍）	800倍（褐斑病 800～1,000倍）
15744	カッパーシン水中和剤	407～508	抗生物質+無機銅	普・B	－	－	－	●	－	斑点病・斑点細菌病●			－	－	7日前：5回（少量散布 200倍）	800倍（褐斑病 800～1,000倍）
23836	グットクル水中和剤	606	DMI+ジチオカーバメート	普・B	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	21日前：2回	500倍
22582	グリーンベンコゼブ水中和剤	187～281	ジチオカーバメート	普・B	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	21日前：5回（少量散布 125倍）	400～600倍
20285	シルバキュアフロアブル	284～426	DMI	普・B	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	14日前：2回	2,000～3,000倍（葉腐病 2,000倍）
22400	デビュー乳剤	398～497	DMI	普・B	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	14日前：4回（少量散布 200倍）	800～1,000倍
23935	どさんこスター水中和剤	606	DMI+ジチオカーバメート	普・B	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	21日前：4回（少量散布 125倍）	500倍
18319	プランダム乳剤25	525～785	DMI	普・B	－	－	－	●	－	斑点病●	－	－	－	－	7日前：3回（少量散布 750倍）	2,000～3,000倍（斑点病 3,000倍）
22926	ホクガード乳剤	438～657	DMI	普・B	－	－	－	●	－	斑点病●	－	－	－	－	14日前：2回（少量散布 450倍）	1,000～1,500倍（斑点病 1,500倍）
22581	モンセレン顆粒水中和剤	1,188	フェニルウレア	普・B	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	30日前：4回	1,000倍（水量200L/10a）
21876	リンバー顆粒水中和剤	1,180	SDHI	普・B	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	7日前：3回	4,000倍（水量200L/10a）
19992	オルトラン水中和剤	302～453	有機リン	普・A	－	－	－	－	－	●	●	－	●	－	45日前：3回（少量散布 300倍）	1,000～1,500倍（ハムシ 1,000倍）
21303	カウンター乳剤	313～469	IGR	普・B	－	－	シロビノメイガ*●		－	－	●	●	－	●	7日前：2回（少量散布 750倍）	2,000～3,000倍（カメ・アングロ・シロオビ 3,000倍）
18500	カスケード乳剤	345～691	IGR	普・B	－	－	シロビノメイガ*●		－	－	●	●	●	●	7日前：4回（ヨトウ、少量散布 1,000倍）	4,000倍（ヨトウ 2,000～4,000倍）
20406	ゲットアウトWDG	253～378	合ピレ	劇・C	－	－	－	－	－	●	●	●	－	－	14日前：4回（ヨトウ、少量散布 750倍）	2,000～3,000倍
11584	ダーズバン乳剤40	346	有機リン	劇・C	－	－	－	－	●	－	●	●	－	－	45日前：2回	1,500倍
20798	ダントツ水溶剤	272～544	ネオニコチノイド*	普・A	－	－	－	－	●	－	－	●	●	－	14日前：3回	2,000～4,000倍
17106	バイスロイド乳剤	162～243	合ピレ	劇・C	－	－	－	－	－	－	●	●	－	－	14日前：4回（少量散布 500倍）	2,000～3,000倍（カメノコ 2,000倍）
24137	ビレスコ顆粒水中和剤	303～606	スルホキシミシ	普・－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	7日前：3回	5,000～10,000倍
23643	ペイオフME液剤	259～518	合ピレ	劇・C	－	－	－	－	－	－	●	●	－	－	14日前：4回（少量散布 500倍）	1,000～2,000倍（カメノコ 2,000倍）
22630	ベジホン乳剤	347～694	有機リン+合ピレ	劇・C	－	－	－	－	－	－	●	●	－	－	21日前：4回（少量散布 400倍）	1,000～2,000倍（カメノコ 1,000倍）
20016	マッチ乳剤	341	IGR	普・A	－	－	シロビノメイガ*●		－	－	●	●	－	●	14日前：2回（少量散布 750倍）	3,000倍
20641	モスピランSL液剤	307	ネオニコチノイド*	劇・A	－	－	－	－	●	●	●	●	－	－	3日前：3回	4,000倍
21431	リーズン顆粒水中和剤	499	ネオニコチノイド*+IGR	普・A	－	－	－	－	●	－	●	－	－	－	14日前：2回	3,000倍

注 意 事 項

* 斑点細菌病は主に育苗期に発生。

* 連作は避ける。茎葉処理は完全に行う。

* 根腐病は200L/10aの水量で、株元散布とする。

* 褐斑病に対する防除薬剤のDMI剤・カスガマイシン剤は耐性菌が確認されたため使用回数を可能な限り低減する。

* 近年発生が見られる「黄化病」は、ウイルス病でモモアカアブラムシにより媒介されるため、定植時(スタークル顆粒水溶剤)と本畑(モスピランSL液剤)での体系防除が有効である。

* スタークル顆粒水溶剤でのカメノコハムシ茎葉散布防除は、1,000～2,000倍(7日前：2回)も可。

* アングロハモグリバエに効果的な薬剤はIGR剤に限られる。

* 各剤の少量散布は、10a当り25Lの水量に対する倍率に留意。

風の強い日の農薬散布は止めましょう

7. 野菜類防除ガイド

(1) キ ャ ベ ツ

※反当薬価はJAなんぼろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

注意事項：イエスクリーン(YES!clean)栽培で使用する農薬は、別途栽培基準の防除体系とする。

作物名	農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	イエスクリー ンR2年度 申請 薬剤	系 統 名	毒性・ 魚 毒 性	べと 病	根 こ ぶ 病	軟 腐 病	黒 腐 病	コ ナ ガ	ア オ ム シ	ア ブ ラ ム シ 類	ヨ ト ウ ム シ	ア ザ ミ ウ マ 類	適正使用基準	使 用 倍 率			
キ ャ ベ ツ (8 P へ 続 く)	-	イプロジオン、メフロニル、チウラム、メタラキシル	-	☆	種子消毒											種苗会社が実施				
	22632	フロンサイド粉剤	8,850～11,800	☆	ピリジナシ	普・C	—	●	苗立枯病●(40kg/10a)		菌核病●(40kg/10a)		—	—	—	播種～定植前：2回(苗床1回、本圃1回)	30～40kg/10a(全面土壌混和)			
	22631	フロンサイドSC	5,478	☆	ピリジナシ	普・C	—	●	苗立枯病(リゾクトニア菌)●		菌核病●		—	—	—	播種～定植前：2回(苗床1回、本圃1回)	500ml/10a(全面土壌混和)			
	22799	オラクル顆粒水和剤	26～65円/枚	☆	Qil	普・C	—	●	—	—	—	—	—	—	—	定植前：1回	200～500倍(0.5L/トレイ灌注)			
	13243	オリゼメート粒剤	5,016～7,524	☆	ベンゾイソチアゾール	普・B	—	—	—	●	—	—	—	—	—	定植時：1回	6～9kg/10a(全面土壌混和または作条土壌混和)			
	20624	ランマンフロアブル	33円/枚	☆	Qil	普・A	—	●	—	—	—	—	—	—	—	定植前日～当日：1回	500倍(2L/トレイ灌注)			
	22555	ジュリボフロアブル	86円/枚	☆	ジアミド [*] +ネオニコチノイド [*]	普・B	ハスモンヨトウ●		メイガ [*] ●		●	●	●	●	ネキアザミウマ●	育苗期後半～定植当日：1回	200倍(0.5L/トレイ灌注)			
	20813	スタークル顆粒水溶剤	37～73円/枚	☆	ネオニコチノイド [*]	普・A	—	—	—	—	●	●	●	メイガ [*] ●		定植前日～定植時：1回	50～100倍(0.5L/トレイ灌注)			
	22485	ネキリエースK	1,551	☆	有機リン	普・B	—	—	—	—	ネキリムシ類●		—	—	—	定植時：1回	3kg/10a(土表面株元散布)			
	22465	プレバソンフロアブル5	74円/枚	☆	ジアミド [*]	普・B	メイガ [*] ・カブラハバチ・ネキリムシ・ハスモンヨトウ●				●	●	—	●	—	育苗期後半～定植当日：1回	100倍(0.5L/トレイ灌注)			
	23556	ペリマークSC	84円/枚	☆	ジアミド [*]	普・B	ウワバ [*] 類・メイガ [*] ・ネキリムシ・ハスモンヨトウ●				●	●	●	●	●	育苗期後半～定植当日：1回	400倍(0.5L/トレイ灌注)			
	21111	Zボルドー	449	☆	無機銅	普・B	●		●	●	斑点細菌病・褐斑細菌病・黒斑細菌病●					—	：	—	500倍(野菜類)	
	3316	アグリマイシン100	328	☆	抗生物質+抗生物質	普・A	黒斑細菌病●		—	●	—	—	—	—	—	—	14日前：2回	2,000倍		
	13823	アグレプト液剤	246	☆	抗生物質	普・A	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	14日前：2回	2,000倍		
	14625	カスミンボルドー	407	☆	抗生物質+無機銅	普・B	黒斑細菌病●		●	●	—	—	—	—	—	—	7日前：4回	1,000倍		
	15744	カッパーシン水和剤	407	☆	抗生物質+無機銅	普・B	黒斑細菌病●		●	●	—	—	—	—	—	—	7日前：4回	1,000倍		
	24001	クプロシールド	123～247	☆	無機銅	普・B	●	—	●(1000～1500倍)		●(1000倍)	—	—	—	—	—	—	：	—	1,000～2,000倍(野菜類)
	23701	スクレアフロアブル	790	☆	QoI	普・B	—	菌核病●		—	—	—	—	—	—	—	前 日：3回	2,000倍		
	17203	スターナ水和剤	928	☆	カルボン酸	普・A	黒斑細菌病●		●	—	—	—	—	—	—	—	7日前：3回	1,000倍		
	16823	ダコニール1000	328	☆	クロロトリル	普・C	●	根朽病●	—	—	—	—	—	—	—	—	14日前：2回	1,000倍		
	19679	バイオキーパー水和剤	707～2,826	☆	微生物農薬	普・—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	発病前～発病初期：—	500～2,000倍(野菜類)		
	17386	バリダシン液剤5	413	☆	抗生物質	普・A	—	—	●	●	株腐病●		—	—	—	—	7日前：5回	800倍		
	24071	パレード20フロアブル	570～1,141	☆	SDHI	普・—	—	菌核病●		—	株腐病●		—	—	—	—	前 日：3回	2,000～4,000倍		
	19510	フェスティパルC水和剤	467	☆	CAA+無機銅	普・B	●	—	—	●	—	—	—	—	—	—	前 日：3回	1,000倍		
	22771	フォリオゴールド	614～767	☆	PA+クロロトリル	普・C	●	ビシウム腐敗病●		—	—	—	—	—	—	—	14日前：2回	800～1,000倍(腐敗病1,000倍)		
	21546	ベジキーパー水和剤	1,380	☆	微生物農薬	普・—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	発病前～発病初期：—	1,000倍		
	16255	ヨネポン水和剤	660	☆	有機銅	普・B	●	—	●	●	—	—	●	—	—	—	7日前：5回	500倍		
	20624	ランマンフロアブル	411	☆	Qil	普・A	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3日前：4回	2,000倍		
	22772	リドミルゴールドMZ	504	☆	ジチオカーバメート+PA	普・B	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30日前：3回	1,000倍		
	22379	レーバスフロアブル	421	☆	CAA	普・A	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7日前：3回	2,000倍		
	14212	ロブラール水和剤	1,155	☆	イプロジオン	普・A	—	菌核病●		—	株腐病●		—	—	—	—	7日前：4回	1,000倍		
	22565	アクセルキングフロアブル	1,141	☆	METI+セミカルバゾン	劇・C	ハスモンヨトウ・オオタバコガ●		ウワバ [*] 類・メイガ [*] ●		●	●	●	●	●	ネキアザミウマ●	14日前：2回	1,000倍		
	15957	アディオン乳剤	892	☆	合ピレ	普・C	—	—	ウワバ [*] 類●		●	●	●	●	●	—	3日前：5回	2,000倍		
	19842	アフアーム乳剤	1,191～2,381	☆	マクロライド [*]	普・C	ハスモンヨトウ●		ウワバ [*] 類・メイガ [*] ●		●	●	—	●	—	—	前 日：3回	1,000～2,000倍		
	21812	ウララDF	299～447	☆	ピリジンカルボキサミド [*]	普・A	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	前 日：2回	2,000～3,000倍		
	19885	エスマルクDF	430～859	☆	BT(クルスターキー系)	普・A	—	オオタバコガ [*] ・ハイマダラノメイガ [*] ●(1000倍)			●	●	—	●(1000倍)	—	—	発生初期～前日：—	1,000～2,000倍(野菜類)		

作物名	農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	イエスクリーン R2年度 申請 薬剤	系 統 名	毒性・ 魚 毒性	べと病	根こぶ病	軟腐病	黒腐病	コナガ	アオムシ	アブラムシ類	ヨトウムシ	アザミウマ類	適正使用基準	使 用 倍 率		
キ ャ ベ ツ	5623	エルサン乳剤	158～316	☆	有機リン	劇・Bs	ハスモンヨウ・ハムシ・ハバチ幼虫・メイガ●				●	●	●	●	●	14日前:2回 1,000～2,000倍(コナガ1,000～1,500倍、ヨトウ・アザミウマ・ハバチ幼虫1,000倍)			
	19992	オルトラン水和剤	227～453	☆	有機リン	普・A	—	ウワバ・ハスモンヨウ●				●	●	●	●	●	30日前:1回 1,000～2,000倍(アザミウマ1,000倍、ウワバ・ヨトウ1,000～1,500倍)		
	21303	カウンター乳剤	313～469	☆	IGR	普・B	—	—	ハスモンヨウ●		●	●	—	●	—		7日前:3回	2,000～3,000倍	
	18500	カスケード乳剤	518～1,036	☆	IGR	普・B	タナキンウワバ・ハスモンヨウ・ハイマダラノメイガ・オオタバコガ●				●	●	—	●	●		7日前:2回	2,000～4,000倍	
	24185	グレーシア乳剤	788～1,179	☆	イソキサゾリン	普・—	ウワバ類・ハスモンヨウ・オオタバコガ・ハイマダラノメイガ●				●	●	—	●	●		7日前:2回	2,000～3,000倍	
	19186	コテツフロアブル	1,133	☆	ピロール	劇・C	シロイチモジヨウ・ハスモンヨウ・ハイマダラノメイガ●				●	●	—	●	—		前日:2回	2,000倍	
	22798	コルト顆粒水和剤	331～443	☆	ピリジニアゾメチン	普・B	—	—	—	—	—	—	●	—	ネキアザミウマ●		前日:3回	3,000～4,000倍(アザミウマ3,000倍)	
	20179	スピノエース顆粒水和剤	1,138～2,277	☆	スピノシン	普・B	タナキンウワバ●		ハイマダラノメイガ●		●	●	—	●	●		3日前:3回	2,500～5,000倍(アザミ・メイガ5,000倍)	
	19616	ゼンターリ顆粒水和剤	470～940	☆	BT(アイザワイ系)	普・A	オオタバコガ・シロイチモジヨウ・ハスモンヨウ●(1,000倍)				●	●	—	●	—		発生初期～前日:—	1,000～2,000倍(野菜類)	
	8178	ダイアジノン乳剤40	360	☆	有機リン	劇・Bs	—	—	キスジノミハムシ●		●	●	●	—	—		30日前:2回	1,000倍(キスジノミハムシ1,200倍)	
	20479	チューンアップ顆粒水和剤	511～764	☆	BT(クルスターキー系)	普・A	オオタバコガ・ハイマダラノメイガ●				●	●	—	●(2,000倍)	—		発生初期～前日:—	2,000～3,000倍(野菜類)	
	22910	ディアナSC	572～1,144	☆	スピノシン	普・B	ハイマダラノメイガ・ウワバ類・ハスモンヨウ・オオタバコガ●				●	●	—	●	●		前日:2回	2,500～5,000倍	
	20056	トアローフロアブルCT	465～931	☆	BT(クルスターキー系)	普・A	—	—	—	—	●	●	オオタバコガ●(500～1,000倍)		—		発生初期～前日:—	1,000～2,000倍(野菜類)	
	13426	トクチオン乳剤	660	☆	有機リン	普・B	ウワバ類・ハスモンヨウ●				●	●	●	●	—		21日前:2回	1,000倍	
	22766	トルネードエースDF	938～1,876	☆	オキサジアジン	普・B	タナキンウワバ・ハスモンヨウ・ハイマダラノメイガ●				●	●	—	●	—		7日前:2回	2,000倍(コナガ・アオムシ1,000～2,000倍)	
	17734	ノーモルト乳剤	587	☆	IGR	普・B	タナキンウワバ・ハスモンヨウ●				●	●	—	●	—		7日前:2回	2,000倍	
	18950	パダンSG水溶剤	440	☆	ネライストキン	劇・Bs	ハイマダラノメイガ・ナメクジ類●				●	●	●	—	—		14日前:4回	1,500倍	
	20818	ハチハチ乳剤	546～1,092	☆	METI	劇・C	—	—	ハイマダラノメイガ●		●	●	●	—	●		14日前:2回	1,000～2,000倍(アザミ1,000倍)	
	24070	ファインセーブフロアブル	682～1,365	☆	Qi阻害	劇・—	—	—	—	—	●	●	—	—	●		3日前:2回	1,000～2,000倍(アオムシ1,000倍)	
	22126	ファルコンエースフロアブル	986	☆	IGR+スピノシン	普・B	タナキンウワバ・ハスモンヨウ・ハイマダラノメイガ●				●	●	—	●	—		7日前:2回	2,000倍	
	21917	フェニックス顆粒水和剤	539～1,077	☆	ジアミド	普・B	オオタバコガ・ウワバ類・ハスモンヨウ・ハイマダラノメイガ●				●	●	—	●	—		前日:3回	2,000～4,000倍	
	21719	プリンスフロアブル	1,076	☆	フェニルピラゾール	劇・C	タナキンウワバ・ハイマダラノメイガ・オオタバコガ●				●	●	キスジノミハムシ●		ネキアザミウマ●		14日前:2回	2,000倍	
	21333	ブレオフロアブル	971	☆	プロペニルオキシフェニル	普・B	ウワバ類・ハイマダラノメイガ・ハスモンヨウ・オオタバコガ●				●	●	—	●	—		7日前:2回	1,000倍	
	22465	プレバソンフロアブル5	738	☆	ジアミド	普・B	ウワバ類・ハイマダラノメイガ・ハスモンヨウ・オオタバコガ●				●	●	—	●	—		前日:3回	2,000倍	
	20653	フローバックDF	449～899	☆	BT(アイザワイ系)	普・A	オオタバコガ・ハスモンヨウ・ハイマダラノメイガ●(1,000倍)				●	●	—	●(1,000倍)	—		発生初期～前日:—	1,000～2,000倍(野菜類)	
	24091	ベネビアOD	624～1,248	☆	ジアミド	普・B	ウワバ類・ハイマダラノメイガ・ハスモンヨウ・オオタバコガ●				●	●	●	●	●		前日:3回	2,000～4,000倍(アザミ・アブラ2,000倍)	
	20016	マッチ乳剤	341～510	☆	IGR	普・A	ハイマダラノメイガ・ハスモンヨウ●(3,000倍)				●	●	—	●	—		7日前:3回	2,000～3,000倍	
	2280	マラソン乳剤	72～216	☆	有機リン	普・B	—	—	—	ハバチ●	—	●	●	●	—	●		前日:5回	2,000～3,000倍(アオムシ・ハバチ1,000倍)
	20641	モスピランSL液剤	615	☆	ネオニコチノイド	劇・A	—	—	—	—	●	●	●	●	—	—		7日前:5回	2,000倍(アブラムシ4,000倍)
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	894～1,789	☆	ネオニコチノイド	劇・A	—	—	—	—	●	●	●	●	—	●		7日前:5回 1,000～2,000倍(アブラムシ・アザミウマ2,000～4,000倍)	
	20863	ランネート45DF	426～851	☆	カーバメート	劇・B	タナキンウワバ・ハスモンヨウ●				●	●	●	●	—		14日前:3回	1,000～2,000倍	
	22870	リーフガード顆粒水和剤	399	☆	ネライストキン	劇・Bs	ハイマダラノメイガ・ナメクジ類●				●	●	●	●	—	●		7日前:3回	1,500倍
注意事項																			
* 種子消毒剤(成分:イプロジオン、メプロニル、チウラム、メタキシル等)もイエスクリーン栽培でカウントされる。																			
* 土壌殺菌剤のフロンスайд粉剤は全面混和で30～40kg、作条混和で15～20kg/10aとする。																			
* バイオキーパー水和剤は、乳剤タイプの農薬との混用は避ける。近接散布は3日以上間隔をあける。発病前に重点的に使用する。																			
* ベネビアODはアルカリ性の農薬や肥料との混用はさける。																			
* コナガでは合ピレ系及びIGR系で、薬剤抵抗性個体群が確認されている。また、ジアミド系は抵抗性遺伝子保持個体が確認されている。同一系統薬剤の連用は、薬剤抵抗性が発現しやすいので避ける。																			
* コナガの初令幼虫は葉肉内、3～4令幼虫と蛹の多くは葉裏に寄生しているので、散布むらがないように十分量散布する。																			
* ヨトウムシの老齢幼虫は薬剤に対する抵抗力が大きくなるので早めに防除する。																			
																塗りつぶしは、新規掲載			
																周辺圃場に栽培されている作物への 安全を確認しましょう			

(2) ブ ロ ッ コ リ ー

※反当薬価はJAなんぼろR2農業年度当用価格(税込)より算出。

注意事項: イエスクリーン(YES!clean)栽培で使用する農薬は、別途栽培基準の防除体系とする。

作物名	農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	イエスクリーン R2年度 申請 薬剤	系 統 名	毒性・ 魚 毒性	根こぶ病	軟腐病	黒腐病	べと病	コナガ	アオムシ	ヨトウムシ	アブラムシ		適正使用基準	使 用 倍 率	
ブ ロ ッ コ リ ー	-	チウラム、マラキシル	-	☆	種子消毒											種苗会社が実施		
	22799	オラクル顆粒水和剤	26～65円/枚	☆	Qil	普・C	●	—	—	—	—	—	—	—	—	定植前:1回	200～500倍(0.5L/トレイ灌注)	
	18210	ネビジン粉剤	8,678～13,017	☆	ベンゼンスルホン酸	普・C	●	—	—	—	—	—	—	—	—	定植前:1回	作条20kg/10a、全面20～30kg/10a	
	22632	フロンスайд粉剤	4,425～11,800	☆	ピリジナミン	普・C	●	—	—	—	—	—	—	—	—	定植前:1回	作条15～20kg、全面30～40kg/10a混和	
	22631	フロンスайдSC	5,478	☆	ピリジナミン	普・C	●	—	—	—	—	—	—	—	—	定植前:1回	500ml/10a(全面土壌混和)	
	20624	ランマンフロアブル	33円/枚	☆	Qil	普・A	●	—	—	—	—	—	—	—	—	定植前日～当日:1回	500倍(2L/トレイ灌注)	
	22555	ジュリボフロアブル	86円/枚	☆	ジアミド [*] ・ネオニコチノイド [*]	普・B	ハスモンヨウ・ハイマダラノメイガ [*] ●				●	●	—	●	ネギ・アザミウマ●	育苗期後半～定植当日:1回	200倍(0.5L/トレイ灌注)	
	22465	プレバソンフロアブル5	74円/枚	☆	ジアミド [*]	普・B	—	—	ハスモンヨウ●		●	●	—	—	—	育苗期後半～定植当日:1回	100倍(0.5L/トレイ灌注)	
	23556	ベリマークSC	84円/枚	☆	ジアミド [*]	普・B	ハスモンヨウ・ハイマダラノメイガ [*] ●				●	●	—	●	アザミウマ●	育苗期後半～定植当日:1回	400倍(0.5L/トレイ灌注)	
	21111	Zボルドー	449	☆	無機銅	普・B	—	●	●	●	花蕾腐敗病●		—	—	—	—	—	500倍(ブロッコリー、野菜類)
	20574	アミスター20フロアブル	765	☆	Qol	普・B	—	—	—	●	黒すす病●		—	—	—	—	3日前:3回	2,000倍
	14625	カスミンボルドー	407	☆	抗生物質+無機銅	普・B	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	21日前:4回	1,000倍
	15744	カッパーシン水和剤	407	☆	抗生物質+無機銅	普・B	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	21日前:4回	1,000倍
	24001	クプロシールド	123～247	☆	無機銅	普・B	—	●(1,000～1500倍)	—	—	●	黒斑細菌病●		—	—	—	—	1,000～2,000倍(野菜類)
	22537	コサイド3000	258	☆	無機銅	普・B	—	●	●	—	花蕾腐敗病●		—	—	—	—	—	1,000倍(軟腐病・黒腐病2,000倍、野菜類)
	17203	スターナ水和剤	464	☆	カルボン酸	普・A	—	●	黒斑細菌病●		—	—	—	—	—	—	14日前:2回	2,000倍
	21759	ダコニール1000	361	☆	クロロトリル	普・C	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	21日前:2回(但し、出蕾前)	1,000倍
	19679	バイオキパー水和剤	707～2,826	☆	微生物農薬	普・—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	発病前～発病初期:—	500～2,000倍(野菜類)
	24071	パレード20フロアブル	570～1,141	☆	SDHI	普・—	—	—	菌核病●		黒すす病●		—	—	—	—	前 日:3回	2,000～4,000倍(黒すす病2,000倍)
	22771	フォリオゴールド	614	☆	PA+クロロトリル	普・C	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	21日前:2回(但し、出蕾前)	1,000倍
	16255	ヨネポン水和剤	660	☆	有機銅	普・B	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—	前 日:4回	500倍
	20624	ランマンフロアブル	411	☆	Qil	普・A	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	3日前:3回	2,000倍
	22379	レーバスフロアブル	421	☆	CAA	普・A	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	7日前:2回	2,000倍
	20672	アクトラ顆粒水溶剤	273	☆	ネオニコチノイド [*]	普・A	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	前 日:3回	3,000倍
	19842	アフーム乳剤	1,191～2,381	☆	マクロライド [*]	普・C	—	—	—	—	—	●	●	●	—	オオタバコガ [*] ●	3日前:3回	1,000～2,000倍
	21812	ウララDF	299～447	☆	ピリジンカルホキサイド [*]	普・A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	前 日:2回	2,000～3,000倍
	19885	エスマルクDF	430～859	☆	BT(カルスターキー系)	普・A	—	—	—	—	—	●	●	●(1,000倍)	—	オオタバコガ [*] ●(1,000倍)	発生初期～前日:—	1,000～2,000倍(野菜類)
	5623	エルサン乳剤	158～316	☆	有機リン	劇・Bs	キスジノミハムシ・ハスモンヨウ・アザミウマ類・メイガ [*] ●				●	●	●	●	—	30日前:2回 1,000～2,000倍(コナガ [*] 1,000～1,500倍、ヨトウ・アザミ [*] 1,000倍)		
	24185	グレーシア乳剤	788～1,179	☆	イソキサザリン	普・—	ハスモンヨウ・ウワバ [*] 類・オオタバコガ [*] ・ハイマダラノメイガ [*] ●				●	●	●	—	ネギ・アザミウマ●	7日前:2回	2,000～3,000倍	
	19186	コテツフロアブル	1,133	☆	ピロール	劇・C	—	—	ハスモンヨウ●		●	●	●	—	—	—	3日前:2回	2,000倍
	22798	コルト顆粒水和剤	331	☆	ピリジンアゾメチン	普・B	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	前 日:3回	4,000倍
	20813	スタークル顆粒水溶剤	245～366	☆	ネオニコチノイド [*]	普・A	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	3日前:2回	2,000～3,000倍
	20179	スピノエース顆粒水和剤	1,138	☆	スピノシン	普・B	—	—	—	—	—	●	●	—	—	—	3日前:3回	5,000倍
	19616	ゼンターリ顆粒水和剤	470～940	☆	BT(アイザワイ系)	普・A	オオタバコガ [*] ・シロイチモジヨウ・ハスモンヨウ●●(1,000倍)				●	●	●	—	—	発生初期～前日:—	1,000～2,000倍(野菜類)	
	22910	ディアナSC	572～1,144	☆	スピノシン	普・B	ウワバ [*] 類・ハイマダラノメイガ [*] ・ハスモンヨウ・オオタバコガ [*] ●				●	●	●	—	アザミウマ●	前 日:2回	2,500～5,000倍	
	22766	トルネードエースDF	938	☆	オキサジアジン	普・B	—	—	—	—	—	●	●	—	—	—	14日前:2回	2,000倍
	17734	ノーモルト乳剤	587	☆	IGR	普・B	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	7日前:2回	2,000倍
	20818	ハチハチ乳剤	546～1,092	☆	METI	劇・C	—	—	—	—	—	●	●	—	●	—	7日前:2回	1,000～2,000倍
	21917	フェニックス顆粒水和剤	539～1,077	☆	ジアミド [*]	普・B	ハイマダラノメイガ [*] ・ハスモンヨウ●				●	—	●	—	—	前 日:2回	2,000～4,000倍	
	21333	プレオフロアブル	971	☆	プロベニルオキシフェニル	普・B	—	—	ハスモンヨウ●		●	—	—	—	—	—	7日前:2回	1,000倍
	22465	プレバソンフロアブル5	738	☆	ジアミド [*]	普・B	ハイマダラノメイガ [*] ・ハスモンヨウ●				●	●	—	—	—	—	前 日:3回	2,000倍
	20653	フローバックDF	449～899	☆	BT(アイザワイ系)	普・A	オオタバコガ [*] ・ハスモンヨウ・ハイマダラノメイガ [*] ●●(1,000倍)				●	●	●	●(1,000倍)	—	—	発生初期～前日:—	1,000～2,000倍(野菜類)
	23553	ベネビアOD	624～1,248	☆	ジアミド [*]	普・B	—	—	ハスモンヨウ●		●	●	—	—	●	アザミウマ●	前 日:3回	2,000～4,000倍(アザミ・アブラ2,000倍)
	22410	マトリックフロアブル	364～727	☆	IGR	普・A	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—	前 日:3回	1,000～2,000倍
	20641	モスピランSL液剤	307～615	☆	ネオニコチノイド [*]	劇・A	—	—	—	—	—	●	●	—	●	—	14日前:3回	2,000倍(アブラムシ4,000倍)
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	894	☆	ネオニコチノイド [*]	劇・A	—	—	—	—	—	●	●	—	●	アザミウマ●	14日前:3回	2,000倍
	20863	ランネット45DF	426～851	☆	カーバメート	劇・B	—	—	—	—	—	—	—	●	●	—	7日前:2回	1,000～2,000倍(ヨトウムシ1,000倍)

注意事項 * 種子消毒剤(成分:チウラム、*マラキシル*)もイエスクリーン栽培でカウントされる。

* ベネビアODはアルカリ性の農薬や肥料との混用はさける。

* コナガでは合ビレ系及びIGR系で、薬剤抵抗性個体群が確認されている。また、ジアミド系は抵抗性遺伝子保持個体が確認されている。同一系統薬剤の連用は、薬剤抵抗性が発現しやすいので避ける。

* コナガの初令幼虫は葉肉内、3～4令幼虫と蛹の多くは葉裏に寄生しているので、散布むらがないように十分量散布する。

塗りつぶしは、新規掲載

栽培履歴を確実に記録しましょう

(3) た ま ね ぎ

※反当薬価はJAなんぼろR2農業年度当用価格(税込)より算出。

注意事項: イエスクリーン(YES!clean)栽培で使用する農薬は、別途栽培基準の防除体系とする。

作物名	農薬番号	農 薬 名	反当薬価 (円/10a)	イエスクリー ンR2年度 申請薬剤	系 統 名	毒 性 ・ 魚 毒 性	べと病	灰 色 か び 病	小菌核病	軟腐病	灰 色 腐 敗 病	乾腐病	タ マ ネ ギ バ エ	ア ザ ミ ウ マ 類	適正使用基準	使 用 倍 率
たまねぎ	22687	チウラム80	－	☆	種子消毒										種苗会社が実施	
	12455	カルホス乳剤	4～7円/枚	☆	有機リン	劇・B	－	－	－	－	－	－	●	－	定植前: 1回	500～1,000倍 (苗箱 500ml/箱、灌注)
	16300	トリフミン水和剤	－	☆	DMI	普・B	－	－	－	－	－	●	－	－	定植直前: 1回	50倍 (5分間苗根部浸漬)
	13823	アグレプト液剤	491	☆	抗生物質	普・A	－	－	－	●	－	－	－	－	7日前: 5回	1,000倍
	22209	アフエットフロアブル	920	☆	SDHI	普・B	－	●	●	－	●	－	－	－	前 日: 4回	2,000倍
	23919	オルフィンフロアブル	682～1,021	☆	SDHI	普・A	－	●	●	－	●	－	－	－	前 日: 3回	2,000～3,000倍
	21468	カンタスドライフロアブル	851～1,276	☆	SDHI	普・A	－	●	●	－	●	－	－	－	前 日: 3回	1,000～1,500倍 (小菌核病1,500倍)
	24001	クプロシールド	165～247	☆	無機銅	普・B	●(1,000～2,000倍)	－	－	●	－	－	りん片腐敗病●		－ : －	1,000～1,500倍 (りん片腐敗病1,000倍)
	22537	コサイド3000	129～258	☆	無機銅	普・B	－	－	－	●	－	－	りん片腐敗病●		－ : －	1,000～2,000倍 (りん片腐敗病1,000倍)
	20285	シルバキュアフロアブル	426	☆	DMI	普・B	－	●	●	－	●	－	－	－	前 日: 3回	2,000倍
	16433	スクレタン水和剤	1,219	☆	無機銅+ジカルボキシイミド	普・B	－	●	－	●	●	－	りん片腐敗病●		前 日: 5回	500倍
	17203	スターナ水和剤	928	☆	カルボン酸	普・A	－	－	－	●	－	－	－	－	7日前: 5回	1,000倍
	21987	ストロビーフロアブル	455～682	☆	QoI	普・B	－	●	－	－	●	－	－	－	14日前: 3回	2,000～3,000倍 (灰色腐敗病2,000倍)
	14498	スミレックス水和剤	1,241	☆	ジカルボキシイミド	普・A	－	●	●	－	●	－	－	－	前 日: 5回	1,000倍
	11574	トップジンM水和剤	483～966	☆	MBC	普・A	－	－	●	－	●	－	－	－	前 日: 5回 (定植後)	500～1,000倍 (小菌核病1,000倍)
	24071	パレード20フロアブル	570～1,141	☆	SDHI	普・－	－	●	●	－	●	－	－	－	前 日: 3回	2,000～4,000倍
	23102	ファンタジスタ顆粒水和剤	509～1,018	☆	QoI	普・B	－	●	●	－	●	－	－	－	前 日: 5回	2,000～4,000倍 (灰色腐敗病2,000～3,000倍)
	22771	フォリオゴールド	614～767	☆	PA+クロロニトリル	普・B	●	●	－	－	－	－	白色疫病●		7日前: 3回	800～1,000倍 (灰色かび病800倍)
	22631	フロンサイドSC	548～1,096	☆	ピリジナミン	普・C	●	●	－	－	●	－	白色疫病●		3日前: 5回	1,000～2,000倍 (白色疫病1,000倍)
	18821	ベルクート水和剤	800	☆	ビスグアニジン	普・A	－	●	●	－	●	－	－	－	前 日: 5回	1,000倍
	20889	ベンレート水和剤	331～496	☆	MBC	普・B	－	●	－	－	●	乾腐病●(20倍・3分苗根部浸漬) 1回		前 日: 6回	2,000～3,000倍 (灰色かび病2,000倍)	
	15890	ポリベリン水和剤	841～1,122	☆	抗生物質+ビスグアニジン	普・A	－	－	－	－	●	－	－	－	3日前: 5回	750～1,000倍
	23804	メジャーフロアブル	648	☆	QoI	普・－	●	●	●	－	●	－	－	－	前 日: 3回	2,000倍
	20624	ランマンフロアブル	411	☆	Qil	普・A	●	－	－	－	－	－	白色疫病●		7日前: 4回	2,000倍
	22772	リドミルゴールドMZ	504～1,008	☆	ジチオカーバメート+PA	普・B	●	－	－	－	－	－	白色疫病●		7日前: 3回	500～1,000倍 (白色疫病1,000倍)
	16589	アグロスリン乳剤	461	☆	合ピレ	劇・C	ネギ [®] ハモグリハエ●		シロイチモンヨトウ●		－	－	－	●	7日前: 5回	2,000倍
	15957	アディオン乳剤	596	☆	合ピレ	普・C	ネギ [®] コガ [®] ●		－	－	ハスモンヨトウ●		－	●	7日前: 5回	3,000倍
	19992	オルトラン水和剤	302～453	☆	有機リン	普・A	－	－	－	－	－	－	－	ネギ [®] アザミウマ●	21日前: 5回	1,000～1,500倍
	24185	グレーシア乳剤	788～1,179	☆	イソキサゾリン	普・－	－	－	－	－	－	－	－	ネギ [®] アザミウマ●	7日前: 2回	2,000～3,000倍
	20406	ゲットアウトWDG	253～378	☆	合ピレ	劇・C	－	－	－	－	－	－	－	●	7日前: 5回	2,000～3,000倍
	8178	ダイアジノン乳剤40	300～514	☆	有機リン	劇・Bs	ネギ [®] ハモグリハエ●1,000～2,000倍			アブラムシ●1,000倍		－	●	●	21日前: 2回	700～1,200倍 (タマネギ [®] ハエ 700倍)
	22910	ディアナSC	572～1,144	☆	スピノシン	普・B	ネギ [®] ハモグリハエ●		－	－	ハスモンヨトウ●		－	●	前 日: 2回	2,500～5,000倍
	13426	トクチオン乳剤	660	☆	有機リン	普・B	－	－	－	－	－	－	－	●	7日前: 4回	1,000倍
	24070	ファインセーブフロアブル	682～1,365	☆	Qi阻害	劇・－	－	－	－	－	－	－	－	●	3日前: 3回	1,000～2,000倍
	21333	プレオフロアブル	971	☆	プロペニルオキシフェニル	普・B	－	－	シロイチモンヨトウ●		ハスモンヨトウ●		－	ネギ [®] アザミウマ●	3日前: 2回	1,000倍
	20641	モスピランSL液剤	411～615	☆	ネオニコチノイド	劇・A	－	－	－	－	－	－	－	●	7日前: 3回	2,000～3,000倍
	22870	リーフガード顆粒水和剤	399	☆	ネライストキン	劇・Bs	ネギ [®] ハモグリハエ●		－	－	－	－	－	ネギ [®] アザミウマ●	3日前: 3回	1,500倍

注意事項 * イエスクリーン栽培では、栽培体系が早生・中晩生の2体系があり、防除基準が異なるので要注意。

* ネギ類の防除は、機能的展着剤「ワイドコート3,000～10,000倍」を利用し防除効果を向上させる。

* ネギアザミウマは、合ピレ系で薬剤抵抗性個体群が確認されている。同一系統薬剤の連用は、薬剤抵抗性が発現しやすいので避ける。

* オルトラン水和剤は、少量散布の登録あり。

塗りつぶしは、新規掲載

イエスクリーン栽培に努めよう
散布器具は必ずきれいに洗浄しよう

作物名	農薬番号	農 薬 名	反当薬価 (円/10a)	イエスクリーン R2年度 申請 薬剤	系 統 名	毒性・ 魚毒性	べと病	さび病	黒斑病	葉枯病	小菌核腐敗病	タマネギバエ	ネギハモグリバエ	アザミウマ類	ネギコガ	適正使用基準	使 用 倍 率	
ね		チウラム、キャプタン、リドミル、ベノミル	－	☆	種子消毒													
	20805	スタークル粒剤	6,600	☆	ネオニコチノイド ⁺	普・A	－	－	－	－	－	－	ハモグリバエ類●	●	－	は種時～定植時: 1回	6kg/10a (播溝土壌混和、株元散布)	
	20813	スタークル顆粒水溶剤	73円/冊	☆	ネオニコチノイド ⁺	普・A	－	－	－	タネバエ・シロイチモジヨウ●	●	●	●	●	●	定植前日～定植時: 1回	50倍 (0.5L/チェーンボット1冊、苗床灌注)	
	22725	キックオフ顆粒水和剤	79円/冊	☆	ジアミド ⁺ +ネオニコチノイド ⁺	普・B	－	－	－	－	シロイチモジヨウ●	●	●	●	－	定植前日～定植時: 1回	100倍 (0.5L/チェーンボット1冊、苗床灌注)	
	23556	ベリマークSC	84円/冊	☆	ジアミド ⁺	普・B	－	－	－	－	シロイチモジヨウ●	●	●	●	－	育苗期後半～定植当日: 1回	400倍 (0.5L/チェーンボット1冊、苗床灌注)	
	22634	ダイアジノン粒剤5	2,104～3,156	☆	有機リン	普・Bs	－	－	－	－	－	コガネムシ類幼虫●	●	－	－	は種時～定植時: 2回	4～6kg/10a	
	22209	アフエットフロアブル	920	☆	SDHI	普・A	－	●	●	－	●	白絹病・黒腐菌核病●(1,000～2,000倍、生育期株元灌注1L/m2)			前 日: 2回 (株元灌注14日前まで)	2,000倍		
	20574	アミスター20フロアブル	765	☆	QoI	普・B	●	●	●	●	－	黄斑病●		リゾクトニア葉鞘腐敗病●	●	－	3日前: 4回	2,000倍
	22144	アミスターオブティフロアブル	876	☆	QoI+クロロニトリル	普・C	●	●	●	●	●	黄斑病●		－	－	－	14日前: 3回	1,000倍
	13243	オリゼメート粒剤	5,016	☆	ベンゾイソチアゾール	普・B	－	－	－	軟腐病●	－	－	－	－	－	－	土寄せ時(30日前): 2回	6kg/10a (株元散布)
	15744	カッパースン水和剤	407	☆	抗生物質+無機銅	普・B	－	－	－	軟腐病●	－	－	－	－	－	－	14日前: 2回	1,000倍
	24001	クプロシールド	123～247	☆	無機銅	普・B	●	－	－	軟腐病●	－	－	－	－	－	－	－ : ー	1,000～1,500倍 (べと病1,000～2,000倍)
	22582	グリーンペンコゼブ水和剤	187	☆	ジチオカーバメート	普・B	●	●	●	－	－	－	－	－	－	－	14日前: 3回	600倍
	22537	コサイド3000	129	☆	無機銅	普・B	－	－	－	軟腐病●	－	－	－	－	－	－	－ : ー	2,000倍 (野菜類)
	23455	ザンプロDMフロアブル	429～572	☆	CAA+QoSI	普・A	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	14日前: 3回	1,500～2,000倍
	22345	ジマンダイセン水和剤	314	☆	ジチオカーバメート	普・B	●	●	●	－	－	－	－	－	－	－	14日前: 3回	600倍
	17203	スターナ水和剤	464	☆	カルボン酸	普・A	－	－	－	軟腐病●	－	－	－	－	－	－	7日前: 3回	2,000倍
	21987	ストロビーフロアブル	682	☆	QoI	普・B	－	●	●	－	－	黄斑病●		－	－	－	7日前: 3回	2,000倍
	22637	ダイナモ顆粒水和剤	699	☆	シアノイミダゾール+シアノアセトアミドオキシム	普・C	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3日前: 4回	2,000倍
	21759	ダコニール1000	361	☆	クロロニトリル	普・C	●	●	●	●	●	●	－	－	－	－	14日前: 3回	1,000倍
	20990	テーク水和剤	609	☆	DMI+ジチオカーバメート	普・B	●	●	●	●	●	－	－	－	－	－	14日前: 3回	600倍
	11574	トップジンM水和剤	483	☆	MBC	普・A	－	－	－	－	●	●	－	－	－	－	7日前: 3回	1,000倍 (定植前苗根部浸漬・苗床灌注の登録も他にあり)
	19679	バイオキーパー水和剤	707～2,826	☆	微生物農薬	普・ー	－	－	－	軟腐病●	－	－	－	－	－	－	発病前～発病初期: ー	500～2,000倍 (野菜類)
	17386	バリダシン液剤5	660	☆	抗生物質	普・A	－	－	－	軟腐病●	－	－	－	－	－	－	21日前: 1回	500倍
	24071	パレード20フロアブル	570～1,141	☆	SDHI	普・ー	－	●	●	●	●	●	黒腐菌核病●		●	－	前 日: 3回	2,000～4,000倍 (さび病・黒腐菌核病2,000倍)
19510	フェスティバルC水和剤	467	☆	CAA+無機銅	普・B	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	14日前: 3回	1,000倍	
22771	フォリオゴールド	614～767	☆	PA+クロロニトリル	普・B	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	14日前: 3回	800～1,000倍	
21954	プロポーズ顆粒水和剤	576	☆	CAA+クロロニトリル	普・C	●	－	－	●	－	－	－	－	－	－	14日前: 3回	1,000倍	
22397	ベトファイター顆粒水和剤	766	☆	CAA+シアノアセトアミドオキシム	普・A	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	14日前: 3回	2,000倍	
20889	ベンレート水和剤	496～992	☆	MBC	普・B	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	30日前: 1回	1,000～2,000倍(定植直前苗根部浸漬の登録も他にあり)	
15890	ポリベリン水和剤	561	☆	抗生物質+ビスグアニジン	普・A	－	－	●	●	●	●	黄斑病●	●	－	－	14日前: 3回	1,500倍	
23804	メジャーフロアブル	648	☆	QoI	普・ー	●	●	●	●	●	－	－	－	－	－	前 日: 3回	2,000倍	
22833	ユニフォーム粒剤	15,822	☆	PA+QoI	普・B	●	●	－	－	－	白絹病●	●	－	－	－	土寄せ時(90日前): 1回	9kg/10a (株元土壌混和)	
16255	ヨネボン水和剤	660	☆	有機銅	普・B	●	●	●	●	軟腐病●	●	－	－	－	－	7日前: 4回	500倍	
17684	ラリー水和剤	635	☆	DMI	普・B	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	7日前: 3回	2,000倍	
17687	ラリー乳剤	748	☆	DMI	普・B	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	14日前: 3回	4,000倍	
20624	ランマンフロアブル	411	☆	Qil	普・A	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3日前: 4回	2,000倍	
22772	リドミルゴールドMZ	504	☆	ジチオカーバメート+PA	普・B	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	30日前: 3回	1,000倍	
22379	レーバスフロアブル	421	☆	CAA	普・A	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7日前: 2回	2,000倍	
14212	ロブラール水和剤	770～1,155	☆	ジカルボキシニミド ⁺	普・A	ホトリチス葉枯症●		●	●	－	●	白絹病●(500～1,000倍、生育期株元灌注1L/m2))			14日前: 3回	1,000～1,500倍		

(6) ピーマン

※反当薬価はJAなんぼろR2農薬年度当用価格(税別)より算出。

注意事項: イエスクリーン(YES!clean)栽培で使用する農薬は、別途栽培基準の防除体系とする。

作物名	農薬番号	農薬名	反当薬価 (円/10a)	イエスクリーン R2年度 申請薬剤	系 統 名	毒性・ 魚毒性	灰 色 か び 病	菌 核 病	斑 点 病	うどんこ 病	ア ブ ラ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ ダ ニ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	タバコガ	適正使用基準	使 用 倍 率	
ピーマン	18218	アドマイヤー1粒剤	－	☆	ネオニコチノイド [*]	普・A	－	－	－	－	●	●	－	－	－	定植時：1回	1～2g/株（植穴又は株元土壌混和）	
	22209	アフエットフロアブル	460～920	☆	SDHI	普・B	●	－	黒枯病●	●	白絹病 1L/株	●	－	－	－	前 日：3回	2,000倍（うどんこ病2,000～4,000倍）	
	14625	カスミンボルドー	407	☆	抗生物質+無機銅	普・B	－	－	●	●	斑点細菌病●	●	－	－	－	前 日：5回	1,000倍	
	15744	カッパーシン水和剤	407	☆	抗生物質+無機銅	普・B	－	－	●	●	斑点細菌病●	●	－	－	－	前 日：5回	1,000倍	
	24001	クプロシールド	112～224	☆	無機銅	普・B	軟腐病●	べと病●	－	－	斑点細菌病●	●	－	－	－	－：－	1,000～2,000倍（野菜類）	
	14501	スミレックスくん煙顆粒	206円/100m ³	☆	ジカルボキシミド [*]	普・A	●	－	－	－	－	－	－	－	－	前 日：5回（くん煙）	6g/100m ³	
	14498	スミレックス水和剤	620～1,241	☆	ジカルボキシミド [*]	普・A	●	●	黒枯病●	－	－	－	－	－	－	前 日：5回	1,000～2,000倍（黒枯病1,000倍）	
	16300	トリフミン水和剤	278～465	☆	DMI	普・B	－	－	－	●	－	－	－	－	－	前 日：5回	3,000～5,000倍	
	24071	パレード20フロアブル	570～1,141	☆	SDHI	普・－	－	－	黒枯病●	●	－	－	－	－	－	前 日：3回	2,000～4,000倍	
	21117	パンチョTF顆粒水和剤	1,466	☆	フェニルアセトアミド [*] +DMI	普・B	－	－	－	●	－	－	－	－	－	前 日：2回	2,000倍	
	20081	ボトキラー水和剤	2,035	☆	微生物農薬	普・－	●	－	－	●	－	－	－	－	－	発病前～発病初期：－	1,000倍（野菜類）	
	21500	ボトピカ水和剤	943～1,886	☆	微生物農薬	普・－	●	－	－	●	－	－	－	－	－	発病前～発病初期：－	2,000～4,000倍	
	17915	ロブラールくん煙剤	1,197円/300～400m ³	☆	ジカルボキシミド [*]	劇・A	●	●	－	－	－	－	－	－	－	前 日：4回（くん煙）	100g/300～400m ³	
	14212	ロブラール水和剤	770～1,155	☆	ジカルボキシミド [*]	普・A	●	●	－	－	－	－	－	－	－	前 日：4回	1,000～1,500倍（菌核病 1,000倍）	
	マシ	23235	アグリメック	893～1,786	☆	マクロライド [*]	劇・－	－	－	－	－	－	●	●	●	－	前 日：3回	500～1,000倍
		15957	アディオン乳剤	596～892	☆	合ピレ	普・C	－	－	－	－	●	－	カメムシ●	－	●	前 日：5回	2,000～3,000倍（タバコガ・カメムシ 2,000倍）
		19842	アフーム乳剤	1,191	☆	マクロライド [*]	普・C	－	－	－	－	－	－	－	●	●	前 日：2回	2,000倍
		21812	ウララDF	224～447	☆	ピリジンカルボキサミド [*]	普・A	－	－	－	－	●	－	－	－	－	前 日：2回	2,000～4,000倍
		24185	グレーシア乳剤	1,179	☆	イソオキサゾリン	普・－	－	－	チャノホコリダニ●	－	－	●	●	●	●	前 日：2回	2,000倍
		19186	コテツフロアブル	1,133	☆	ピロール	劇・C	－	－	－	ミカンキイロ・ミナミキイロアザミウマ●	●	●	－	●	－	前 日：2回	2,000倍
		22798	コルト顆粒水和剤	334	☆	ピリジンアゾメチン	普・B	－	－	－	－	●	－	－	●	－	前 日：2回	4,000倍
		20813	スタークル顆粒水溶剤	245～366	☆	ネオニコチノイド [*]	普・A	－	－	－	－	●(3,000倍)	●	カメムシ●	●	－	前 日：2回	2,000～3,000倍（アザミウマ2,000倍）
		21685	スパイデックス	－	☆	天敵：（施設専用）	普・－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	発生初期：放飼	100～300ml/10a（野菜類）
		20179	スピノエース顆粒水和剤	1,138～2,277	☆	スピノシン	普・B	－	－	－	－	－	●	－	－	●	前 日：2回	2,500～5,000倍（アザミウマ 5,000倍）
		17801	ダニトロンフロアブル	468～936	☆	METI	普・C	－	－	－	－	－	－	●	－	－	前 日：3回	1,000～2,000倍
		21644	チェス顆粒水和剤	434	☆	ピリジンアゾメチン	普・A	－	－	－	－	●	－	－	－	－	前 日：3回	5,000倍
16094		ニッソラン水和剤	436～652	☆	成長阻害剤	普・B	－	－	－	－	－	－	●	－	－	前 日：2回	2,000～3,000倍	
20388		粘着くん液剤	2,624～5,247	☆	デンブン	普・A	－	－	－	●	●	－	●	●	－	前 日：－	100倍（野菜類）150～300L/10a	
24070		ファインセーブフロアブル	682～1,365	☆	Q _i 阻害	劇・－	－	－	－	－	－	●	－	●(1,000倍)	－	前 日：3回	1,000～2,000倍	
21333		プレオフロアブル	971	☆	フロベニルオキシフェニル	普・B	－	－	－	－	－	●	－	－	●	前 日：2回	1,000倍	
19326		モスピランジェット	1,287円/400m ³	☆	ネオニコチノイド [*]	劇・A	－	－	－	－	●	－	－	－	－	前 日：2回（くん煙）	50g/400m ³	
22583		モスピラン顆粒水溶剤	447	☆	ネオニコチノイド [*]	劇・A	－	－	－	－	●	●	－	－	●	－	前 日：2回	4,000倍
23187		モベントフロアブル	458	☆	テトラ酸	普・A	－	－	－	チャノホコリダニ●	●	●	●	●	－	前 日：3回	2,000倍	
17113		ロディー乳剤	457	☆	合ピレ	劇・C	－	－	－	－	●	－	－	●	－	－	前 日：3回	2,000倍
注意事項																	塗りつぶしは、新規掲載	
* ハウス内および周辺は除草をして清潔にする。																	イエスクリーンを成功させよう 栽培履歴を確実に記録しよう	
* アブラムシはハウス被覆資材に近紫外線フィルムを用いると侵入抑制効果がある。																		
* くん煙剤と同名の農薬は成分が同一であるので、適正使用基準を厳守する。																		

(7) は く さ い

作物名	農薬番号	農 薬 名	系 統 名	毒性・魚毒性	べと病	根こぶ病	軟腐病	黒斑病	白さび病	コナガ	アオムシ	ヨトウムシ	アブラムシ類	適正使用基準	使 用 倍 率
は <															

(8) だいこん

作物名	農薬番号	農 薬 名	系 統 名	毒性・ 毒性・ 魚	軟腐病	タネバエ	ムキシ シジノミハ	ネキリムシ類	コナガ	ヨトウムシ	アオムシ	アブラムシ	コオロギ類	適正使用基準	使 用 倍 率
だい い こ ん	22634	ダイアジノン粒剤5	有機リン	普・Bs	—	●	—	●	コガネムシ類幼虫・ケラ●			—	—	播種時：1回	4～6kg/10a(全面土壌混和又は作条土壌混和) 3kg/10a
	22485	ネキリエースK	有機リン	普・B	—	—	—	●	—	—	—	—	●	播種時：1回	
	15744	カッパースン水和剤	抗生物質+無機銅	普・B	●	—	黒斑細菌病・ワッカ症●			—	—	—	—	14日前：3回	1,000倍
	21111	Zボルドー	無機銅	普・B	●	—	白さび病・べと病・黒斑細菌病●			—	—	—	—	—：—	500倍(野菜類・だいこん)
	19679	バイオキーパー水和剤	微生物農薬	普・—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	発病前～発病初期：—	500～2,000倍(野菜類)
	19616	ゼンターリ顆粒水和剤	BT(アイザワイ系)	普・A	—	—	オオタバコガ●		●	●	●	—	—	発生初期～前日：—	1,000倍(コナガ・アオムシ・ヨトウ1,000～2,000倍)
	20798	ダントツ水溶剤	ネオニコチノイド [*]	普・A	—	—	—	—	—	—	—	●	—	7日前：2回	2,000～4,000倍
	17167	トレボン乳剤	合ピレ	普・B	—	—	—	—	●	●	●	●	—	21日前：3回	1,000～2,000倍
	21856	ペイオフME液剤	合ピレ	劇・C	—	—	—	—	—	—	●	●	—	30日前：3回	1,000～2,000倍
注意事項															

(9) ばれいしょ

作物名	農薬番号	農 薬 名	系 統 名	魚毒性・ 毒性・	黒あざ病	そうか病	疫病	夏疫病	軟腐病	菌核病	ケラ	シア ブラム	シテ ダン マト シウム	適正使用基準	使 用 倍 率
ば れ い し ょ	3316	アグリマイシンー100	抗生物質+抗生物質	普・A	—	●	黒あし病●		—	—	—	—	—	植付前：1回	40～100倍(5～10秒間浸漬) 200倍(瞬時～10分間浸漬) 3～6kg/10a(1～2g/株) 4～6kg/10a
	17386	バリダシン液剤5	抗生物質	普・A	●	—	—	—	—	—	—	—	—	植付前：1回	
	19993	オルトラン粒剤	有機リン	普・A	—	—	—	—	—	—	—	●	—	植付時：1回(作条散布)	
	22634	ダイアジノン粒剤5	有機リン	普・Bs	—	—	—	—	—	—	●	ネキリムシ類●		植付前：1回	
	3316	アグリマイシンー100	抗生物質+抗生物質	普・A	—	—	●	—	●	—	—	—	—	3日前：5回	1,000倍(軟腐病1,000～1,600倍)
	22582	グリーンペンコゼブ水和剤	ジチオカーバメート	普・B	—	—	●	●	—	—	—	—	—	7日前：10回	400～600倍(少量散布 100倍/25L)
	22345	ジマンダイセン水和剤	ジチオカーバメート	普・B	—	—	●	●	—	—	—	—	—	7日前：10回	400～600倍(少量散布 100倍/25L)
	17203	スターナ水和剤	カルボン酸	普・A	—	—	—	—	●	—	—	—	—	7日前：5回	1,000倍
	14498	スミレックス水和剤	ジカルボキシイミド [*]	普・A	—	—	—	—	—	●	—	—	—	21日前：4回	1,000～1,500倍
	20169	ダコニールエース	クロロトリル	普・C	—	—	●	●	—	—	—	—	—	7日前：5回	750～1,500倍(少量散布 125倍/25L)
	19679	バイオキーパー水和剤	微生物農薬	普・—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	発病前～発病初期：—	1,000～2,000倍
	22631	フロンサイドSC	ピリジナシ	普・C	—	—	●	●	—	●	—	—	—	7日前：4回	1,000～2,000倍(夏疫病2,000倍)
	20624	ランマンフロアブル	Qil	普・A	—	—	●	—	—	—	—	—	—	7日前：4回	1,000～2,000倍(少量散布 375倍/25L)
	22379	レーバスフロアブル	CAA	普・A	—	—	●	—	—	—	—	—	—	7日前：2回	1,500～2,000倍(少量散布 375～500倍/25L)
	15957	アディオン乳剤	合ピレ	普・C	—	—	—	—	—	—	—	●	●	14日前：4回	2,000～3,000倍
	22669	アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイド [*]	劇・A	—	—	—	—	—	オオニジュウヤホシテントウ●		●	—	14日前：2回	5,000～15,000倍(少量散布 2,500倍/25L)
	19992	オルトラン水和剤	有機リン	普・A	—	—	—	—	—	ヨトウムシ・ジャガイモガ●		●	●(幼虫)	30日前：2回	1,000～1,500倍(テントウムシ、ヨトウムシ1,000倍)
	4962	スミチオン乳剤	有機リン	普・B	—	—	—	—	—	—	—	●	●	3日前：6回	1,000倍(少量散布 250倍/25L)
	17167	トレボン乳剤	合ピレ	普・B	—	—	—	—	—	—	—	●	—	7日前：3回	1,000倍
	24137	ビレスコ顆粒水和剤	スルホキシミン	普・—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	7日前：3回	5,000～10,000倍(少量散布 1,250倍/25L)
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイド [*]	劇・A	—	—	—	—	—	ジャガイモガ●(2,000倍)		●	●	7日前：3回	2,000～6,000倍(テントウムシ2,000～4,000倍)

注意事項

- * 無病いもを植付ける。
- * そうか病は土壌pHが5.2以上で発生し、6.5ないしアルカリ側で多発生する。
- * スミレックス水和剤は、あぶらな科作物に薬害を生じる恐れがあるので飛散に注意する。
- * アブラムシの種類によって薬剤の効果が異なるので注意する。
- * ワタアブラムシは、下位葉に好んで寄生するので、散布量を多くするとともに倒伏や過繁茂にならないようにする。

農薬散布は、風の強さ・向きに注意、
ドリフトの無いように散布しよう

(10) ト マ ト

作物名	農薬番号	農薬名	系統名	毒性・魚毒性	疫病	灰色かび病	葉かび病	うどんこ病	シアブラム	マアザミウ	ミコナジラ	コガオタバ	バハエモ類グリ	適正使用基準	使用倍率
トマ	20574	アミスター20フロアブル	QoI	普・B	—	●	●	—	—	—	—	—	—	前日：4回	2,000倍
	21292	オーソサイド水和剤80	フタルイミド*	普・C	●	●	●	—	—	—	—	—	—	前日：5回	800倍（疫病800～1,200倍）
	21468	カンタスドライフロアブル	SDHI	普・A	—	●	●	菌核病●	—	—	—	—	—	前日：3回	1,000～1,500倍
	17697	ゲッター水和剤	ベンゾイミダゾール+フェニルカーバメート	普・A	—	●	●	菌核病●	—	—	—	—	—	前日：5回	1,000～1,500倍
	22537	コサイド3000	無機銅	普・B	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—：—	1,000倍
	20449	ジャストミート顆粒水和剤	ヒドロキシアニリド*+フェニルピロール	普・B	—	●	—	—	—	—	—	—	—	前日：3回	2,000～3,000倍
	21759	ダコニール1000	クロロニリル	普・C	●	●	●	●	すすかび病・炭疽病・輪紋病・褐色輪紋病●					前日：4回	1,000倍
	23276	トリフミンジェット	DMI	普・B	—	—	●	—	—	—	—	—	—	前日：5回（くん煙）	50g/400㎡
	16300	トリフミン水和剤（ミトマも可）	DMI	普・B	—	—	●	—	すすかび病●		—	—	—	前日：5回	3,000倍（葉かび病3,000～5,000倍）
	23102	ファンタジスタ顆粒水和剤	QoI	普・B	—	●	●	菌核病●	すすかび病・斑点病●		—	—	—	前日：3回	2,000～3,000倍
	19100	フルピカフロアブル	AP	普・B	—	●	—	—	—	—	—	—	—	前日：4回	2,000～3,000倍
	20081	ボトキラー水和剤	微生物農薬	普・—	—	●	—	●	—	—	—	—	—	発病前～発病初期：—	1,000倍（野菜類）
	22379	レーバスフロアブル	CAA	普・A	●	—	—	—	—	—	—	—	—	前日：3回	1,500～2,000倍
	17915	ロブラールくん煙剤	ジカルボキシイミド*	劇・A	—	●	—	菌核病●	—	—	—	—	—	前日：3回（くん煙）	100g/300～400㎡
	トマ	22669	アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイド*	劇・A	—	—	—	—	●	—	●	—	—	前日：2回
19186		コテツフロアブル（ミトマも可）	ピロール	劇・C	—	—	ナミハダニ・トマトサビダニ●		ミカンキイロアザミウマ●		—	●	—	前日：3回	2,000倍
20179		スピノエース顆粒水和剤（ミトマも可）	スピノシン	普・B	—	—	—	—	—	●	—	●	●	前日：2回	5,000倍
17734		ノーモルト乳剤（ミトマも可）	IGR	普・B	—	—	—	—	—	—	●	ハスモンヨウ●		前日：2回	2,000倍
19326		モスピランジェット	ネオニコチノイド*	劇・A	—	—	—	—	ミカンキイロアザミウマ●		●	—	—	前日：3回（くん煙）	50g/400㎡
22583		モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイド*	劇・A	—	—	—	—	●	●	●	—	—	前日：3回	2,000倍

注意事項

(11) ≡ = ト マ ト

作物名	農薬番号	農 薬 名	系 統 名	毒性・魚毒性	疫 病	病 灰 色 か び	葉 か び 病	病 う どん こ	シ ア プ ラ ム	マ ア 類 ザ ミ ウ	ミ コ ナ ジ ラ	コ ガ オ タ バ	エ ハ モ グ リ バ	適正使用基準	使 用 倍 率
ミニトマト	21468	カンタスドライブフロアブル	SDHI	普・A	—	●	●	菌核病●	—	—	—	—	—	前 日：3回	1,000～1,500倍
	17697	ゲッター水中和剤	ベンゾイミダゾール+フェニルカーバメート	普・A	—	●	●	菌核病●	—	—	—	—	—	前 日：3回	1,500倍
	22537	コサイド3000	無機銅	普・B	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—：—	1,000倍
	21759	ダコニール1000	クロロトリル	普・C	●	●	●	●	斑点病・すすかび病・炭疽病・輪紋病●					前 日：2回	1,000倍
	23276	トリフミンジェット	DMI	普・B	—	—	●	—	—	—	—	—	—	前 日：5回(くん煙)	50g/400㎡
	11574	トップジンM水中和剤（トマトも可）	MBC	普・A	—	●	●	菌核病●	—	—	—	—	—	前 日：5回	1,500～2,000倍
	23102	ファンタジスタ顆粒水中和剤	QoI	普・B	—	●	●	菌核病●	すすかび病・斑点病●	—	—	—	—	前 日：3回	2,000～3,000倍
	19100	フルピカフロアブル	AP	普・B	—	●	—	—	—	—	—	—	—	前 日：4回	2,000～3,000倍
	22379	レーバスフロアブル	CAA	普・A	●	—	—	—	—	—	—	—	—	前 日：3回	2,000倍
	17915	ロブラールくん煙剤	ジカルボキシミド*	劇・A	—	●	—	菌核病●	—	—	—	—	—	前 日：3回(くん煙)	100g/300～400㎡
	22669	アドマイヤー顆粒水中和剤	ネオニコチノイド*	劇・A	—	—	—	—	●	—	●	—	—	前 日：2回	5,000～10,000倍
	15957	アディオン乳剤	合ピレ	普・C	—	—	—	—	●	—	オンシツコナジラミ●		—	前 日：1回	3,000倍
	19842	アフアーム乳剤（トマトも可）	マクロライト*	普・C	—	—	—	—	トマトサビダニ●		●	●	●	前 日：5回	2,000倍
	18406	コロマイト乳剤（トマトも可）	マクロライト*	普・C	—	—	—	—	トマトサビダニ●		●	—	●	前 日：2回	1,500倍
21333	プレオフロアブル（トマトも可）	プロペルオキシフェニル	普・B	—	—	—	—	ハスモンヨトウ●		—	●	●	前 日：2回	1,000倍	
19326	モスピランジェット	ネオニコチノイド*	劇・A	—	—	—	—	ミカンキイロアザミウマ●		●	—	—	前 日：3回(くん煙)	50g/400㎡	
22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイド*	劇・A	—	—	—	—	●	●	●	—	—	前 日：3回	2,000倍	
注意事項															

(12) な す

作物名	農薬番号	農薬名	系統名	毒性・魚毒性	黒枯病	灰色かび病	すすかび病	菌核病	うどんこ病	類アブラムシ	類アザミウマ	類コナジラミ	ハダニ類	適正使用基準	使用倍率
な	23478	バスアミド微粒剤	MITC	劇・A	一年生雑草・苗立枯病●			ネコフセンチュウ●		青枯病●		半身萎凋病●		播種又は定植21日前：1回	20～30kg/10a(青枯病 30kg)
	18218	アドマイヤー1粒剤	ネオニコチノイド [*]	普・A	—	—	—	—	—	●	●	—	—	定植時：1回	1～2g/株(植穴又は株元土壌混和)
	22144	アミスターオプティフロアブル	QoI+クロロニトリル	普・C	●	●	●	—	●	褐色腐敗病●		—	—	前日：4回	1,000倍
	21759	ダコニール1000	クロロニトリル	普・C	●	●	●	—	●	—	—	—	—	前日：4回	1,000倍
	11574	トップジンM水和剤	MBC	普・A	●	●	—	●	—	—	—	—	—	前日：5回	1,500～2,000倍
	19100	フルピカフロアブル	AP	普・B	—	●	—	—	●	—	—	—	—	前日：4回	2,000～3,000倍
す	15957	アディオン乳剤	合ピレ	普・C	—	—	カメムシ類・テントウムシダマシ●			●	—	オンシツコナジラミ●		前日：3回	2,000倍(アブラムシ類2,000～3,000倍)
	22669	アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイド [*]	劇・A	—	—	—	—	—	●	●	●	—	前日：2回	5,000～10,000倍
	18406	コロマイト乳剤	マクロライド [*]	普・C	—	—	—	—	ハモグリハエ類・チャノホコリダニ●		●	●	●	前日：2回	1,500倍
	19326	モスピランジェット	ネオニコチノイド [*]	劇・A	—	—	—	—	—	●	ミナミキイロアザミウマ●		—	前日：3回(くん煙)	50g/400㎡
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイド [*]	劇・A	—	—	—	テントウムシダマシ類●		●	●	●	—	前日：3回	2,000～4,000倍(コナジラミ2,000倍、アブラムシ・テントウムシダマシ類4,000倍)

(13) き ゆ う り

作物名	農薬番号	農薬名	系統名	毒性・魚毒性	べと病	灰色かび病	うどんこ病	炭疽病	斑点細菌病	黒星病	類アブラムシ	類コナジラミ	ハダニ類	適正使用基準	使用倍率
き ゆ う り	18218	アドマイヤー1粒剤	ネオニコチノイド [*]	普・A	—	—	—	—	—	—	●	アザミウマ類●		定植時：1回	1～2g/株(植穴又は株元土壌混和)
	20574	アミスター20フロアブル	QoI	普・B	●	●	●	●(2,000倍)	菌核病●	褐斑病●(2,000倍)		—	—	前日：4回	1,500～2,000倍(灰かび・菌核1,500倍)
	22144	アミスターオプティフロアブル	QoI+クロロニトリル	普・C	●	●	●	●	—	●	菌核病・褐斑病●		—	前日：4回	1,000倍
	15548	アリエッティ水和剤	ホスホート	普・A	●	—	—	—	—	—	—	—	—	前日：3回	400～800倍
	22537	コサイド3000	無機銅	普・B	軟腐病●		褐斑細菌病●		●	—	—	—	—	—：—	2,000倍(野菜類)
	22345	ジマンダイセン水和剤	ジチオカーバメート	普・B	●	疫病・つる枯病●		●	褐斑病●	●	—	—	—	前日：3回	600倍(べと病 600～800倍)
	14498	スミレックス水和剤	ジカルボキシミド [*]	普・A	—	●	菌核病・つる枯病●			—	—	—	—	前日：6回	1,000～2,000倍(つる枯病 1,000倍)
	21759	ダコニール1000	クロロニトリル	普・C	●	●	●	●	褐斑病●	●	—	—	—	前日：8回	1,000倍
	11574	トップジンM水和剤	MBC	普・A	—	●	●	●	—	●	菌核病・つる枯病●			前日：5回	1,500～2,000倍
	19100	フルピカフロアブル	AP	普・B	—	●	●	—	褐斑病●	—	—	—	—	前日：4回	2,000～3,000倍
	15890	ポリバリン水和剤	抗生物質+ビスグアニジン	普・A	—	●	●	—	褐斑病●	—	アザミウマ類●		●	前日：2回	1,000倍(うどんこ病 2,000倍)
	20624	ランマンフロアブル	Qil	普・A	●	—	—	—	—	—	—	—	—	前日：4回	1,000～2,000倍
	20672	アクタラ顆粒水溶剤	ネオニコチノイド [*]	普・A	—	—	—	—	ミカンキイロアザミウマ●		●	●	—	前日：3回	3,000倍(ミカンキイロ 2,000倍)
	22669	アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイド [*]	劇・A	—	—	—	—	アザミウマ類●		●	●	—	前日：3回	5,000～10,000倍
	18406	コロマイト乳剤	マクロライド [*]	普・C	—	—	—	—	ハモグリハエ類●		—	●(1,500倍)	●	前日：2回	1,000～1,500倍(ハモグリ 1,000倍)

注意事項 * きゅうりは、適用農薬がもっとも多い作物であり、誤使用の無いよう適正防除に努める必要がある。

* くん煙剤には、モスピランジェット、ロフラーくん煙剤、トリフミンジェット、スミレックスくん煙顆粒、フルピカくん煙剤などがある。

* アミスター20フロアブルは、高温多湿条件で薬害のおそれあり。

(14) か ぼ ち や

作物名	農薬番号	農 薬 名	系 統 名	毒性・魚毒性	病うどんこ	べと病	疫病	病褐斑細菌	菌果実斑点細	シア類 ブラム	シウリ ハム	－	－	適正使用基準	使 用 倍 率
か ぼ ち や	15548	アリエッティ水和剤	ホスホナート	普・A	－	●	●	－	－	－	－			前 日:3回	400～800倍
	17828	イオウフロアブル	無機化合物	普・A	●	－	－	－	－	－	－			－ : ー	500倍
	4407	園芸ボルドー	無機化合物+無機銅	普・B	－	－	－	－	●	－	－			－ : ー	500倍
	22537	コサイド3000	無機銅	普・B	－	－	－	●	●	黒腐病・軟腐病・斑点細菌病●				－ : ー	2,000倍 (野菜類)
	23594	ショウチノスケフロアブル	AP+チアゾリジン	普・B	●	－	－	－	－	－	－			前 日:2回	2,000倍
	21987	ストロビーフロアブル	QoI	普・B	●	●	－	－	－	－	－			前 日:3回	3,000倍
	21111	Zボルドー	無機銅	普・B	－	●	－	●	●	軟腐病・斑点細菌病・軟腐細菌病●				－ : ー	500倍 (野菜類)
	21759	ダコニール1000	クロロニトリル	普・C	●	●	白斑病●	－	－	－	－			7日前:3回	1,000倍
	16300	トリフミン水和剤	DMI	普・B	●	－	－	－	－	－	－			前 日:5回	3,000～5,000倍
	21117	パンチョTF顆粒水和剤	DMI+フェニルアセトアミド [*]	普・B	●	－	－	－	－	－	－			前 日:2回	2,000倍
	22771	フオリオゴールド [*]	PA+クロロニトリル	普・C	－	●	●	－	－	－	－			7日前:3回	1,000倍
	19100	フルピカフロアブル	AP	普・B	●	－	－	－	－	－	－			前 日:4回	2,000～3,000倍
	22397	ベトファイター顆粒水和剤	CAA+シアノアセトアミド [*] オキシム	普・A	－	－	●	－	－	－	－			3日前:3回	2,000倍
	18821	ベルコート水和剤	ビスグアニジン	普・A	●	－	－	－	－	－	－			7日前:4回	1,000～2,000倍
	15890	ポリペリン水和剤	抗生物質+ビスグアニジン	普・A	●	－	－	－	－	－	－			7日前:3回	1,000～2,000倍
	19723	モレスタン水和剤	キノキサリン	普・B	●	－	－	－	－	－	－			3日前:3回	2,000～4,000倍
	22772	リドミルゴールドMZ	ジチオカーバメート+PA	普・B	－	●	●	－	－	－	－			30日前:2回	1,000倍
	15957	アディオン乳剤	合ピレ	普・C	－	－	－	－	－	●	－			前 日:5回	2,000～3,000倍
	5623	エルサン乳剤	有機リン	劇・Bs	－	－	－	－	－	●	－	アサミウマ類●		3日前:3回	1,000～2,000倍 (アサミウマ 1,000倍)
	20798	ダントツ水溶剤	ネオニコチノイド [*]	普・A	－	－	－	－	－	●	●	カホ [*] チャミハ [*] エ●(2,000倍)		3日前:3回	2,000～4,000倍
	16715	マブリック水和剤20	合ピレ	劇・C	－	－	－	－	－	●	－			21日前:2回	4,000倍
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイド [*]	劇・A	－	－	－	－	－	●	●	カホ [*] チャミハ [*] エ●(2,000倍)		前 日:2回	2,000～4,000倍 (ウリハムシ 4,000倍)

(15) ほ う れ ん そ う

作物名	農薬番号	農 薬 名	系 統 名	毒性・魚毒性	べと病	タネバエ	アブラムシ類	モグラハダ	ホウレンソウ	シロオビノメイガ	—	—	—	適正使用基準	使 用 倍 率
ほうれんそう	15548	アリエッティ水和剤	ホスホナート	普・A	●	白斑病●		—	—	—				前 日:2回	1,500倍
	22379	レーバスフロアブル	CAA	普・A	●	—	—	—	—	—				3日前:2回	2,000倍
	22634	ダイアジノン粒剤5	有機リン	普・Bs	—	●	—	—	—	—	ヒメクロスリカ●(播種前土壌混和)			播種時:1回	6kg/10a (作条土壌混和又は土壌表面散布)
	18311	フォース粒剤	合ピレ	劇・C	—	—	—	—	●	—	ネキリムシ類●			播種前:1回	9kg/10a (全面土壌混和)
	18500	カスケード乳剤	IGR	普・B	—	—	—	●	●	●	ハスモンヨウ●			3日前:3回	4,000倍
	4962	スミチオン乳剤	有機リン	普・B	—	—	●	—	●	—				21日前:2回	1,000～2,000倍(コナダニ2,000倍)
	18950	パダンSG水溶剤	ネライストキシン	劇・Bs	—	—	—	●	—	●	ミナミキイロアザミウマ●			7日前:2回	1,500倍
注意事項														ドリフトを受けないように厳重注意	

(16) に ん に く

作物名	農薬番号	農 薬 名	系 統 名	毒性・魚毒性	黄斑病	病黒腐菌核	病紅色根腐	さび病	葉枯病	春腐病	シア 類 ブラム	ネギ コガ	チレイ ユセモ ウング サ	適正使用基準	使 用 倍 率
に ん に く	23478	バスアミド微粒剤	MITC	劇・A	一年生雑草●		●	白網病●	－	－	－	－	●	植付28日前:1回	30kg/10a (土壌混和)
	20888	ベンレートT水和剤20	ジチオカーバメート+ベンゾイミダゾール	普・C	－	●	－	－	－	－	－	－	●	植付前:1回	種球重量の0.5～1% (イモダレは1%)
	21111	Zボルドー	無機銅	普・B	白斑葉枯病●		－	●	－	●	－	－	－	－ : ー	500倍
	3316	アグリマイシンー100	抗生物質+抗生物質	普・A	－	－	－	－	－	●	－	－	－	7日前:3回	1,000倍
	20574	アミスター20フロアブル	QoI	普・B	－	－	－	●	●	－	－	－	－	7日前:3回	2,000倍
	15744	カッパーシン水和剤	抗生物質+無機銅	普・B	－	－	－	－	－	●	－	－	－	7日前:5回	1,000倍

にんにく	22345	ジマンダイセン水和剤	ジチカーハート	普・B	－	白斑葉枯病●(400倍)		－	●	－	－	－	－	7日前:5回	400～500倍
	21759	ダコニール1000	クロロトリル	普・C	●	白斑葉枯病●		●	●	－	－	－	－	7日前:6回	
	15890	ポリベリン水和剤	抗生物質+ビスグアニジン	普・A	●	－	－	－	●	－	－	－	－	3日前:3回	
	19992	オルトラン水和剤	有機リン	普・A	－	－	－	－	－	－	●	●	－	7日前:2回	1,000倍
	13426	トクチオン乳剤	有機リン	普・B	－	－	－	－	－	－	－	●	－	14日前:3回	
	16715	マブリック水和剤20	合ピレ	劇・C	－	－	－	－	－	－	●	●	－	3日前:2回	

(17) ア ス パ ラ ガ ス

作物名	農薬番号	農 薬 名	系 統 名	毒性・魚毒性	茎枯病	斑点病	シア類 ブラム	ヨハス ウモン	シヨ トウム	ハダ ニ類	シクジ ビユウ ガシハ ムシ	－	－	適正使用基準	使 用 倍 率
ア ス パ ラ ガ ス	21987	ストロビーフロアブル	QoI	普・B	－	●	－	－	－	－	－			前 日:3回	2,000倍
	21759	ダコニール1000	クロロトリル	普・C	●	●	疫病●	褐斑病●	－	－	－			前 日:4回	1,000倍
	11574	トップジンM水和剤	MBC	普・A	●	－	立枯病●	－	－	－	－			7日前:5回	1,000倍
	22631	フロンサイドSC	ピリジナシ	普・C	●	●	－	－	－	－	－			収穫後:5回(露地限定、秋期まで)	2,000倍
	22579	ベフラン液剤25	ビスグアニジン	劇・A	●		－	－	－	－	－			収穫後:5回(冬期まで)	1,000倍
	20889	ベンレート水和剤	ベンゾイミダゾール	普・B	●	－	株腐病●	－	－	－	－			前 日:4回	2,000倍
	15957	アディオン乳剤	合ピレ	普・C	－	－	●	－	●	－	●	カメムシ類●		前 日:3回	2,000倍(ハムシ・カメムシ 2,000～3,000倍)
	19842	アファーム乳剤	マクロライド	普・C	－	－	－	●	●	－	－	オオタバコガ●		前 日:2回	2,000倍
	19186	コテツフロアブル	ピロール	劇・C	－	－	－	●	●	●	●	オオタバコガ●		前 日:2回	2,000倍
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイド	劇・A	－	－	●	－	コナジラミ類●		●	アザミウマ類●		前 日:2回	4,000倍

(18) し そ

作物名	農薬番号	農 薬 名	系 統 名	毒性・魚毒性	さび病	類ア ブラムシ	ヨト ウムシ	トハス モンヨ	ハダ ニ類	サシ ビソ ダニ	リチャ ダニ ホコ	類ア ザミ ウマ	－	適正使用基準	使 用 倍 率
し そ	16300	トリフミン水和剤	DMI	普・B	●	－	－	－	－	－	－	－		収穫開始10日前:3回	5,000倍
	16589	アグロスリン乳剤	合ピレ	劇・C	－	●	－	－	－	－	－	ヒシモンヨコバイ●		7日前:1回	2,000倍
	15957	アディオン乳剤	合ピレ	普・C	－	●	●	●	コナジラミ類・ウリハムシモトギ●			●		5日前:2回	4,000倍
	18562	アドマイヤーフロアブル	ネオニコチノイド	劇・A	－	●	－	－	－	－	－	－		3日前:3回	4,000倍
	19842	アファーム乳剤	マクロライド	普・C	－	－	●	●	●	●	－	－		7日前:2回	2,000倍
	18406	コロマイト乳剤	マクロライド	普・C	－	－	－	－	●	サビダニ類●		●	－	前 日:2回	2,000倍
	20179	スピノエース顆粒水和剤	スピノシン	普・B	－	－	－	－	－	－	－	●		3日前:3回	10,000倍

(19) 未 成 熟 そ ら ま め

作物名	農薬番号	農 薬 名	系 統 名	毒性・魚毒性	立枯病	輪紋病	さび病	ア ブラムシ	ヨシ トウイ チモジ	－	－	－	－	適正使用基準	使 用 倍 率
未 成 熟 そ ら ま め	22345	ジマンダイセン水和剤	ジチカーハート	普・B	－	●	●	－	－					30日前:3回	400～600倍
	21111	Zボルドー	無機銅	普・B	べと病●	赤色斑点病●		－	－					－ : －	500倍(そらまめ・野菜類)
	10332	タチガレン液剤	ヒドロキシイソキサゾール	普・A		－	－	－	－					播種後～生育期:30日前:3回	500倍(200ml/株、株元灌注)
	18562	アドマイヤーフロアブル	ネオニコチノイド	劇・A		－	－	●	－					7日前:3回	4,000倍
	4962	スミチオン乳剤	有機リン	普・B	マダシソウイガ●(1,000～1,500倍)			●	カメムシ・シロイチモジ・マダラメイガ●					3日前:3回	1,000倍(アブラムシ類1,000～2,000倍)
	19616	ゼンターリ顆粒水和剤	BT(アイザワイ系)	普・A	－	－	－	－	●(1,000倍)	ヨトウムシ●				前 日:－(発生初期)	1,000～2,000倍(野菜類)

(20) さ や い ん げ ん

作物名	農薬番号	農 薬 名	系 統 名	毒性・魚毒性	灰色かび病	菌核病	さび病	アブラムシ	ハダニ類	アザミウマ類	—	—	—	適正使用基準	使 用 倍 率
さ や い ん げ ん	18218	アドマイヤー1粒剤	ネオニコチノイド	普・A	—	—	—	●	—	—				定植時～播種時：1回	1～2g/株(6kg/10aまで 植穴土壌混和)
	8178	ダイアジノン乳剤40	有機リン	劇・Bs	—	—	—	●	●	—				7日前：3回	1,000～2,000倍(アブラムシ 1,000倍)
	17801	ダニトロンフロアブル	METI	普・C	—	—	—	—	●	—				前 日：1回	1,000～2,000倍
	16094	ニッソラン水和剤	成長阻害剤	普・B	—	—	—	—	●	—				前 日：2回	2,000倍
	2280	マラソン乳剤	有機リン	普・B	ハモグリハエ類・マメシキイガ・カメシメ類●	●	●	●	●	●	インゲンテンノウ●(2,000倍)			7日前：3回	2,000～3,000倍(ハモグリ・マメシ・カメ 1,000倍)
注意事項															

(21) 未成熟とうもろこし(スイートコーン)

作物名	農薬番号	農 薬 名	系 統 名	毒性・魚毒性	すす紋病	苗立枯病	類アブラムシ	ガアワノメイ	アワヨトウ	類ハリガネムシ	—	—	—	適正使用基準	使 用 倍 率
未成熟とうもろこし (スイートコーン)	20604	キヒゲンRー2フロアブル	ジチオカーバメート	普・C	—	●	カラス・キジ・ハト・キジハト・ムクドリ・スズメ	●						播種前：1回	原液20ml/1kg(種子塗沫)
	21409	クルーザーFS30	ネオニコチノイド*	普・A	—	—	—	—	—	●	タネハエ	●		播種前：1回	乾燥種子1kg当り原液6ml(塗沫処理)
	22634	ダイアジノン粒剤5	有機リン	普・Bs	—	—	—	—	—	—	ネキリムシ類	●		出芽時：1回	6kg/10a
	20888	ベンレートT水和剤20	ジチオカーバメート+ベンゾイミダゾール	普・C	—	●	—	—	—	—				播種前：1回	乾燥種子重量の0.5%(種子粉衣)
	16300	トリフミン水和剤	DMI	普・B	●	—	—	—	—	—				7日前：3回	2,000～4,000倍
	16589	アグロスリン乳剤	合ピレ	劇・C	—	—	●	●	●	—				7日前：3回	1,000～2,000倍(アワヨトウ1,000倍、アブラムシ2,000倍)
	18562	アドマイヤーフロアブル	ネオニコチノイド*	劇・A	—	—	●	—	—	—				14日前：2回	4,000倍(無人ヘリ64倍も可)
	5623	エルサン乳剤	有機リン	劇・Bs	—	—	—	●	—	—				14日前：4回	1,000倍
	18500	カスケード乳剤	IGR	普・B	—	—	—	●		オオタバコガ	●			7日前：2回	2,000～4,000倍(オオタバコガ4,000倍)
	20406	ゲットアウトWDG	合ピレ	劇・C	—	—	●	●	●	—	カメムシ類	●		7日前：3回	3,000倍
	17167	トレボン乳剤	合ピレ	普・B	—	—	—	●	●	—				7日前：4回	1,000倍
	18950	パダンSG水溶剤	ネライストキシン	劇・Bs	—	—	—	●	—	—				21日前：2回	1,000倍
	21917	フェニックス顆粒水和剤	ジアミド*	普・B	—	—	—	●		オオタバコガ	●			前日：2回	2,000～4,000倍
	21719	プリンスフロアブル	フェニルピラゾール	劇・C	—	—	—	●		オオタバコガ	●			14日前：2回	2,000倍
	22465	プレバサンフロアブル5	ジアミド*	普・B	—	—	—	●		オオタバコガ	●			前日：3回	2,000倍
20641	モスピランSL液剤	ネオニコチノイド*	劇・A	—	—	●	—	—	—				前日：3回	4,000～6,000倍	
22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイド*	劇・A	—	—	●	—	—	—				前日：3回	2,000～4,000倍	
注意事項 *アブラムシ類は、絹糸抽出期以降7～10日間隔で2回散布する。ただし、高温年は発生量が増加するので、追加防除を検討する。															

(22) す い か

作物名	農薬番号	農 薬 名	系 統 名	毒性・魚毒性	苗立枯病	うどんこ病	べと病	炭疽病	つる枯病	褐斑細菌病	菌核病	アブラムシ類	ハダニ類	適正使用基準	使 用 倍 率	
す い か	18218	アドマイヤー1粒剤	ネオニコチノイド*	普・A	—	—	—	—	アザミウマ類●(1～2g/株)		●	—	—	定植時:1回	1～5g/株(植穴土壌混和)但し、3kg/10aまで	
	10332	タチガレン液剤	ヒドロキシシキサゾール	普・A	●	—	—	—	—	—	—	—	—	播種直後:1回	500～1,000倍(3L/㎡ 苗床灌注)	
	15744	カッパーシン水和剤	抗生物質+無機銅	普・B	—	●	果実汚斑細菌病●		●	—	—	—	—	前 日:5回	1,000倍	
	22290	シグナムWDG	QoI+SDHI	普・C	—	●	—	●	●	—	●	褐色腐敗病●		前 日:3回	1,500～2,000倍(菌核・褐色腐敗 1,500倍)	
	22345	ジマンダイセン水和剤	ジチオカーバメート	普・B	疫病●	—	●	●	●	●	—	—	—	7日前:7回	400～600倍	
	21759	ダコニール1000	クロロニトリル	普・C	—	—	—	●	●	—	—	—	—	3日前:5回	700～1,000倍(炭疽病 700倍)	
	20990	テーク水和剤	DMI+ジチオカーバメート	普・B	—	●	—	●	●	—	—	—	—	7日前:5回	600～800倍	
	11574	トップジンM水和剤	MBC	普・A	—	—	—	●	—	—	—	●	—	—	前 日:5回	1,500～2,000倍
	21117	パンチョTF顆粒水和剤	DMI+フェニルアセトアミド*	普・B	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	前 日:2回	2,000倍
	19884	ベルコートフロアブル	ビスグアエシシン	普・A	—	●	—	●	●	—	—	●	—	—	前 日:4回	1,000倍
	20081	ボトキラー水和剤	微生物農薬	普・—	—	●	灰色かび病●		—	—	—	—	—	発病前～発病初期:—	1,000倍(野菜類)	
	22772	リドミルゴールドMZ	ジチオカーバメート+フェニルアミド*	普・B	—	—	—	—	—	—	—	褐色腐敗病●		7日前:3回	1,000倍(※発病を見たら、治療)	
	22669	アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイド*	劇・A	—	—	—	—	—	アザミウマ類●		●	—	—	3日前:3回	5,000～10,000倍
	21812	ウララDF	ピリジンカルボキサミド*	普・A	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	前 日:2回	2,000～4,000倍
	17801	ダニトロンフロアブル	METI	普・C	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	前 日:1回	1,000～2,000倍
	20818	ハチハチ乳剤	METI	劇・C	—	●	—	コナジラミ類●		アザミウマ類●		●	—	—	前 日:2回	1,000～2,000倍(うどんこ・コナジラミ 1,000倍)
	18345	ピラニカEW	METI	劇・C	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	3日前:1回	2,000～3,000倍
	16715	マブリック水和剤20	合ピレ	劇・C	—	—	—	—	—	—	—	—	●	●	3日前:2回	2,000倍(アブラムシ類 4,000倍)
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイド*	劇・A	—	—	アザミウマ類・ウリノメイガ・ウリハムシ・コナジラミ類●					●	—	—	3日前:3回	2,000～4,000倍(メイガ・コナジラミ 2,000倍、ハムシ 4,000倍)

注意事項 *アブラムシ類は、発生を見たら早めに葉裏まで散布すること。ハダニ類は初発生から周囲の雑草を含めて葉裏にもかけ、同一薬剤の連用を避ける。

(資料:1)

無人ヘリコプター散布用農薬

(主な薬剤)

作物名	適用病害虫	農薬番号	農 薬 名	反当薬価	希釈倍数	散布液量	毒性・魚毒性	使用時期	使用回数
水 稲	いもち病	7290	カスミン液剤	178	8倍	0.8L／10a	普・A	穂揃期まで	2回
		19065	コラトップ1キロ粒剤12	2,255	—	1kg／10a	普・A	出穂30～5日前(穂いもち)	2回
		21817	ビームエイトゾル	202～323	5～8倍	0.8L／10a	普・A	収穫 7日前	3回
		18756	ブラシンゾル	357	8倍	0.8L／10a	普・A	収穫 7日前	2回
	カメムシ	21471	キラップフロアブル ☆	411～823	8～16倍	0.8L／10a	普・A	収穫14日前	2回
		22367	ダントツEXフロアブル	287～430	24～36倍	0.8L／10a	普・A	収穫 7日前	3回
		19670	トレボンスカイMC ☆※	459	16倍	0.8L／10a	普・B	収穫14日前	3回
	いもち病・カメムシ類	22636	ダブルカットトレボンフロアブル	704	8倍	0.8L／10a	普・B	穂揃期まで	2回
		21745	ビームエイトトレボンゾル ☆	705	5倍	0.8L／10a	普・B	収穫14日前	3回
22927		ブラシンキラップフロアブル	758	8倍	0.8L／10a	普・A	収穫14日前	2回	
秋小麦	雪腐小粒菌核病	22266	モンカットベフランフロアブル	869	4倍	0.8L／10a	劇・B	根雪前	2回
		19043	リゾレックスベフランフロアブル	843	6倍	0.8L／10a	劇・A	根雪前	2回
		20285	シルバキュアフロアブル	426	16倍	0.8L／10a	普・B	根雪前	1回
	褐色雪腐病	20624	ランマンフロアブル	821	8倍	0.8L／10a	普・A	根雪前	3回
	赤かび病	17725	チルト乳剤25	467	8倍	0.8L／10a	普・B	収穫 7日前	3回
		20285	シルバキュアフロアブル	426	16倍	0.8L／10a	普・B	収穫 7日前	2回
	ヒメビウカ	17541	トレボンエアー	448	8倍	0.8L／10a	普・B	収穫14日前	2回
	赤かび病	14228	トップジンMゾル	509	8倍	0.8L／10a	普・A	収穫14日前	3回/出穂期以降2回
とうもろこし	アブラムシ類	22669	アドマイヤー顆粒水和剤	584	80倍	1.6L／10a	劇・A	収穫14日前	2回
		18562	アドマイヤーフロアブル	476～953	64倍	1.6～3.2L／10a	劇・A	収穫14日前	2回
未成熟とうもろこし	アブラムシ類	20641	モスピランSL液剤	615	64倍	3.2L／10a	劇・A	収穫14日前	3回
てんさい	褐斑病	22345	ジマンダイセン水和剤	376	8倍	1.6L／10a	普・B	収穫21日前	5回
		22344	グリーンダイセンM水和剤	236	8倍	1.6L／10a	普・B	収穫21日前	5回
		22926	ホクガード乳剤	438	24倍	1.6L／10a	普・B	収穫14日前	2回
	ヨトウムシ	19670	トレボンスカイMC	917	16倍	1.6L／10a	普・B	収穫14日前	3回
		19992	オルトラン水和剤	453	16倍	1.6L／10a	普・A	収穫45日前	移植後3回以内
ばれいしょ	疫病	20624	ランマンフロアブル	821	32倍	3.2L／10a	普・A	収穫 7日前	4回
	アブラムシ類	22669	アドマイヤー顆粒水和剤	584	80倍	1.6L／10a	劇・A	収穫14日前	2回
キャベツ	コナガ	17734	ノーモルト乳剤	1,175	16倍	1.6L／10a	普・B	収穫 7日前	2回
アスパラガス	茎枯病	21111	Zボルドー	2,244	8倍	8L／10a	普・B	—	—
	斑点病	19884	ベルコートフロアブル	1,599	8倍	1.6L／10a	普・A	14日前	5回
水 稲 除草剤 調整剤	水田雑草	19190	クリンチャー1キロ粒剤(移植)	1,820	1kg/10a	普・B	移植後7日～ノビエ4葉	2回	
				2,730	1.5kg/10a	普・B	移植後25日～ノビエ5葉	2回	
			クリンチャー1キロ粒剤(直播)	1,820	1kg/10a	普・B	播種後10日～ノビエ3葉	2回	
				2,730	1.5kg/10a	普・B	播種後25日～ノビエ4葉	2回	
		23719	アツパレZ1キロ粒剤(移植) ☆	2,905	1kg/10a	普・A	移植直後～20日	1回	
			アツパレZ1キロ粒剤(直播)	2,905	1kg/10a	普・A	イネ1葉期～ノビエ3.0葉期	1回	
節間短縮・倒伏軽減	18829	ビビフルフロアブル	2,134	原液100mlを水0.8Lに希釈/10a	普・A	出穂10～2日前	1回		

他作物には、大豆、小豆、たまねぎ、だいこん、やまのいも、などへの無人ヘリ散布用農薬がある。

☆は、ピュアライス用(R2は2品種「ななつぼし・きたくりん」とも同じ) ☆※はピュアライス、きたくりんのみ使用可能。

(資料:2)

速度連動式地上液剤少量散布用農薬(ハंकフル)

(主な薬剤)

作物名	適用病害虫	農薬番号	農 薬 名	反当薬価	希釈倍数	散布液量	毒性・魚毒性	使用時期	使用回数
水稲	いもち病	21691	ビームゾル	320	300倍	25L／10a	劇・A	7日前	3回
		19165	ブラシンフロアブル	367	300倍	25L／10a	普・A	7日前	2回
	カメムシ類	21471	キラップフロアブル ☆	411	500倍	25L／10a	普・A	14日前	2回
		20798	ダントツ水溶剤	272	1, 000倍	25L／10a	普・A	7日前	3回
		17167	トレボン乳剤 ☆※	354	600倍	25L／10a	普・B	14日前	3回
	いもち病・カメムシ類	22636	ダブルカットトレボンフロアブル	587	300倍	25L／10a	普・B	穂揃期まで	2回
		21745	ビームエイトトレボンゾル ☆	612～918	120～180倍	25L／10a	普・B	14日前	3回
		22927	ブラシンキラップフロアブル	633	300倍	25L／10a	普・A	14日前	2回
小 麦	赤かび病・赤さび病	20285	シルバキュアフロアブル	426	500倍	25L／10a	普・B	7日前	2回
		23500	リベロ水和剤(赤かびのみ)	439	500倍	25L／10a	普・B	7日前	3回
		11574	トップジンM水和剤(赤かびのみ)	483	250倍	25L／10a	普・A	14日前	3回(出穂期以降2回)
		17725	チルト乳剤25(赤さびのみ)	234～467	250～500倍	25L／10a	普・B	3日前	3回
てんさい	褐斑病	15744	カッパースィン水和剤	508	200倍	25L／10a	普・B	7日前	5回
		22582	グリーンペンコゼブ水和剤	225	125倍	25L／10a	普・B	21日前	5回
		23935	どさんこスター水和剤	606	125倍	25L／10a	普・B	21日前	4回
		22926	ホクガード乳剤	365	450倍	25L／10a	普・B	14日前	2回
	ヨトウムシ	19992	オルトラン水和剤	378	300倍	25L／10a	普・A	45日前	3回
		21303	カウンター乳剤	313	750倍	25L／10a	普・B	7日前	2回
		20406	ゲットアウトWDG	253	750倍	25L／10a	劇・C	14日前	4回
		22630	ベジホン乳剤	434	400倍	25L／10a	劇・C	21日前	4回
		23643	ペイオフME液剤	259	500倍	25L／10a	劇・C	14日前	4回

☆は、ピュアライス用(R2は2品種「ななつぼし・きたくりん」とも同じ)

○反当薬価はJAなんぼろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

☆※はピュアライス、きたくりんのみ使用可能。

8. 水稻除草剤・成長調整剤使用ガイド

注意事項:ピュアライス栽培では、別途栽培基準による。(ななつぼし・きたくりん2品種共「ピラクロン1キロ粒剤・FL+アツパレZ1キロ粒剤・FL・ジャンボ」に限定・・☆印)

(1) 移植後土壌処理剤

※反当薬価はJAなんぼろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

☆・・ピュアライス該当除草剤

処理法(剤型)	農薬番号	除 草 剤 名	反当薬価 (円/10a)	毒性・魚毒性	成 分 名 (%)	使用時期(ヒエ葉期)	使 用 量
移植後土壌処理	18567	ソルネット1キロ粒剤	746	普・B	プレチラクロール4	+0～+5(ヒエ1.0)	1kg/10a(※移植同時可)
	18163	エリジャン乳剤	841	普・B	プレチラクロール12	+0～+5(ヒエ1.0)	300ml/10a
	22680	シング乳剤	1,063	普・B	ピリゾチカルブ12、プレチラクロール8	+0～+5(ヒエ始)	300ml/10a
	19853	草笛フロアブル	1,408～2,347	普・B	クミロン27.4、ペンタキサゾン8.2	+0～+5(ヒエ1.0)	500ml(体系300ml)/10a
	23199	ホットコンビフロアブル	1,106～1,843	普・B	テニルクロール4.0、ベンゾビシクロン4.0	+0～+10(ヒエ1.5)	500ml(体系300ml)/10a
	18717	ユニハーブフロアブル	1,849	普・B	プレチラクロール5、ベンゾフェナップ20	+0～+5(ヒエ1.0)	500ml/10a(※移植同時可)
	22087	ピラクロン1キロ粒剤 ☆	1,325	普・A	ピラクロニル1.8	+0～+10(ヒエ1.5)	1kg/10a(※移植同時可)
	22088	ピラクロンフロアブル ☆	1,407	普・A	ピラクロニル3.6	+0～+10(ヒエ1.5)	500ml/10a(※移植同時可)
	23733	ピラクロンジャンボ ☆	1,644	普・A	ピラクロニル6.0	+0～+10(ヒエ1.5)	300g/10a
注意事項	* 砂質土壌や、減水深が2cm/日以上の水田、軟弱苗を移植した水田では薬害のおそれがあるので注意する。 * 雑草の多い水田では、土壌処理剤を適量・適期に使用しておき、一発剤もしくは中期処理剤と体系使用が望ましい。						※各剤「移植後30日まで」 塗りつぶしは、新規掲載

(2) 初期～初中期一発剤

1キロ粒剤	23719	アツパレZ1キロ粒剤 ☆	2,905	普・A	プロピリスルフロン0.9、ピラクロニル2.0、プロモブチド9.0	+0～+20(ヒエ2.5)	1kg/10a(※移植同時可)
	19749	“ウリホス1キロ粒剤”	2,551	普・B	シメタメリン0.6、ピラゾレート18、プレチラクロール3、ベンプレセート3	+0～+10(ヒエ1.5)	1kg/10a
	24063	“エンペラー1キロ粒剤”	2,876	普・一	ピラクロニル2.0、ピリミノバックメチル0.75、フェンキトリオン3.0	+0～+20(ヒエ2.5)	1kg/10a(※移植同時可)
	23977	“ジャイロ1キロ粒剤”	2,883	普・B	イプフェンカルバゾン2.5、ベンゾビシクロン3.0、ベンゾフェナップ8.0	+0～+20(ヒエ2.5)	1kg/10a(※移植同時可)
	22148	バッチリ1キロ粒剤	2,636	普・A	イマゾスルフロン0.9、ピラクロニル2.0、プロモブチド9.0	+0～+15(ヒエ2.0)	1kg/10a(※移植同時可)
	24062	“ベルーガ1キロ粒剤”	2,609	普・一	ピリミノバックメチル0.9、フェンキトリオン3.0	+0～+20(ヒエ2.5)	1kg/10a(※移植同時可)
フロアブル剤	23716	アールタイプフロアブル	3,029	普・一	メタゾスルフロン1.1、ピラゾレート18.2、ベンゾビシクロン3.6	+3～+15(ヒエ2.0)	500ml/10a
	23778	アツパレZフロアブル ☆	2,974	普・A	プロピリスルフロン1.7、ピラクロニル3.7、プロモブチド16.8	+3～+20(ヒエ2.5)	500ml/10a
	24154	“エンペラーフロアブル”	2,971	普・一	ピラクロニル3.7、ピリミノバックメチル1.4、フェンキトリオン5.6	+0～+20(ヒエ2.5)	500ml/10a(※移植同時可)
	23978	“ジャイロフロアブル”	2,959	普・B	イプフェンカルバゾン4.5、ベンゾビシクロン5.4、ベンゾフェナップ14.3	+0～+15(ヒエ2.0)	500ml/10a(※移植同時可)
	23816	天空フロアブル	3,368	普・一	フェントラザミド6.0、ベンゾビシクロン6.0、メタゾスルフロン1.2	+0～+20(ヒエ2.5)	500ml/10a(※移植同時可)
	22149	バッチリフロアブル	2,679	普・A	イマゾスルフロン1.7、ピラクロニル3.7、プロモブチド16.3	+0～+15(ヒエ2.0)	500ml/10a(※移植同時可)
	24170	“ベルーガフロアブル”	2,642	普・一	ピリミノバックメチル1.7、フェンキトリオン5.6	+0～+20(ヒエ2.5)	500ml/10a(※移植同時可)
	23795	△“ボデーガードフロアブル”△	3,035	普・A	トリアフェモン0.97、△テフリルトリオン5.8△(水口、ボート専用)	+5～+25(ヒエ3.0)	500ml/10a
	24167	“マスラオフロアブル”	2,999	普・一	イマゾスルフロン1.7、ピリミノバックメチル1.2、フェンキトリオン5.8	+0～+20(ヒエ2.5)	500ml/10a(※移植同時可)
ジャンボ剤	23720	アツパレZジャンボ ☆	3,349	普・A	プロピリスルフロン、ピラクロニル、プロモブチド	+3～+20(ヒエ2.5)	400g/10a
	24074	“エンペラージャンボ”	3,131	普・一	ピラクロニル8.0、ピリミノバックメチル3.0、フェンキトリオン12.0	+0～+20(ヒエ2.5)	250g/10a
	22287	バッチリジャンボ	2,981	普・A	イマゾスルフロン2.25、ピラクロニル5.0、プロモブチド22.5	+0～+15(ヒエ2.0)	400g/10a
豆つぶ剤	24073	“エンペラー豆つぶ250”	2,965	普・一	ピラクロニル8.0、ピリミノバックメチル3.0、フェンキトリオン12.0	+0～+20(ヒエ2.5)	250g/10a
	24199	“ベルーガ豆つぶ250”	2,642	普・一	ピリミノバックメチル3.6、フェンキトリオン12.0	+0～+20(ヒエ2.5)	250g/10a
	23552	“ヤブサメ豆つぶ250”	2,923	普・A	ピラクロニル6.0、ピリミスルファン2.0、フェキサスルホン6.0	+3～+15(ヒエ2.0)	250g/10a
注意事項	* 適期散布が必要である。ヒエ、ホタルイなど発生時から1.5葉期に散布することが効果を安定させるために重要となる。 * 水深3～5cmの湛水状態で散布し、散布後3～4日間は水深を保ち、田面を露出させない。その後も落水しない。 また、かけ流し灌漑をしない。強風時の散布も避ける。除草効果安定のためには、中干しは必要以外避けるべきである。 * 農薬名に「 “ ”」を附してある薬剤は非SU剤であり、ミズアオイ、ホタルイなど抵抗性のある雑草が多い水田では、効果が安定している。 * △テフリルトリオンを含有するフロアブル剤は手振り散布やノズル散布を行うと強い薬害が生じるので水口施用かボートで散布を行う。						※各剤「移植後30日まで」 塗りつぶしは、新規掲載

(3) 中期剤(主としてSM剤)

ヒエ専用	19190	クリンチャー1キロ粒剤	1,820	普・B	シハロップブチル1.8	移植後15～35(ヒエ4.0)	1kg/10a
SM剤等	22422	ザーベックスDX1キロ粒剤	2,293	普・B	シメリン4.5、ベンプレセート6、MCPB2.4、シハロップブチル1.5	移植後20～30(ヒエ3.0)イネ5.5葉以上	1kg/10a
ジャンボ剤	23867	セカンドショットSジャンボMX	3,377	普・A	アジムスルフロン0.36、ヘノキスラム0.36、メトリオン2.0	移植後20～35(ヒエ3.5)	500g/10a
注意事項	* 晴天で水温の高いときに5cm程度の止め水にして均一に散布する。 * 除草効果安定のため、移植後土壌処理剤との体系処理が望ましい。						

9. 畑作除草剤・成長調整剤使用ガイド

(1) 秋小麦除草剂

※反当薬価はJAなんぼろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

	農薬番号	除 草 剤 名	反当薬価 (円/10a)	毒性・魚毒性	使 用 量	使 用 時 期	適正使用	使用回数
全面土壌 散布	22935	ガルシアフロアブル	718～1,794	普・B	150～250ml/10a(播種後出芽前)、100～200ml/10a(出芽直前～麦3葉期)		雑草発生前～始期	1回
	19638	ガレス乳剤	1,481～1,851	普・Bs	200～250ml/10a	播種後出芽前	雑草発生前	} 通算1回
	19638	ガレス乳剤 (* 雑草茎葉散布兼)	741～1,111	普・Bs	100～150ml/10a	* 小麦1～3葉期	雑草発生前～始期	
	19880	ガレスG	2,640～3,300	普・Bs	4～5 kg/10a	播種後発芽前	雑草発生前	1回
	22176	ゴーゴーサン乳剤	1,041～1,735	普・B	300～500ml/10a	播種後～小麦2葉期まで	イネ科雑草1葉期迄	1回(後作に注意)
	16458	ゴーゴーサン細粒剤F	2,630～3,156	普・B	5～6 kg/10a	播種後出芽前	雑草発生前	1回(後作に注意)
	7327	トレファノサイド乳剤	909～1,364	普・Bs	200～300ml/10a	播種後～小麦3葉まで	イネ科雑草1葉期迄	2回
	22775	ボクサー	1,034～1,293	普・B	400～500ml/10a	播種後～麦4葉期	雑草発生前～始期	2回
	22776	ムギレンジャー乳剤	1,189～2,379	普・B	300～600ml/10a	播種後出芽前(少水量散布可)	雑草発生前	1回
雑草茎葉 散布	8089	アクチノール乳剤	557～1,114	普・C	100～200ml/10a	穂ばらみ期まで	雑草生育初期	2回以内
	20184	エコパートフロアブル(* 大豆間作用)	425～849	普・A	50～100ml/10a	* 秋:秋小麦の2～4葉期(広葉雑草2～4葉期)	収穫45日前	} 通算2回以内
	20184	エコパートフロアブル	425～637	普・A	50～75 ml/10a	* 春:秋小麦の止葉抽出前まで(広葉雑草2～4葉期)	収穫45日前	
	7684	MCPソーダ塩	230～345	普・A	200～300g/10a	秋小麦の幼穂形成期	収穫45日前	1回
	18081	ハーモニー75DF水和剤	2,109～2,812	普・A	7.5～10 g/10a	秋小麦の幼穂形成期	収穫45日前	1回
	16124	バサグラン液剤(ナトリウム塩)	403～807	普・A	100～200ml/10a	麦類の生育期(雑草3～6葉期)	収穫45日前	1回
耕起前 雑草 茎葉散布	21766	ラウンドアップマックスロード	378～946	普・A	200～500ml/10a	耕起前雑草処理(畑地多年生イネ科雑草)	耕起前	3回
	22161	タッチダウンIQ	773～1,546	普・A	500～1,000ml/10a	耕起前雑草生育期(畑地多年生イネ科雑草)	耕起3日以前	1回
	22580	クサトリキング	527～1,054	普・A	500～1,000ml/10a	耕起前雑草処理(畑地多年生雑草、草丈30cm以下)	耕起7日前	1回
注意事項	* エコパートフロアブルは、展着剤を混用してはならない。 また、同剤を「間作小麦」の除草剤として使用する場合は、大豆収穫後とする。 * ハーモニー75DF水和剤は、タンクやホース内に薬液が残らないよう使用後は速やかに専用の洗浄剤または消石灰で良く洗浄する。 * 耕起前雑草処理では、散布後効果の発現は1～2週間を要する。 * 耕起前雑草茎葉散布には、通常水量(100L)散布と少水量(25～50L)散布の登録がある。							
							農薬のラベル内容を 確認しましょう	

(2) 春小麦除草剂

	農薬番号	除 草 剤 名	反当薬価 (円/10a)	毒性・魚毒性	使 用 量	使 用 時 期	適正使用	使用回数
全面土壌 散布	22935	ガルシアフロアブル(* 雑草茎葉散布)	1,436	普・B	200ml/10a	* 小麦1～3葉期	雑草発生始期	1回
	19638	ガレス乳剤	1,481～1,851	普・Bs	200～250ml/10a	播種後出芽前	雑草発生前	} 通算1回
	19638	ガレス乳剤(* 雑草茎葉散布兼)	741～1,111	普・Bs	100～150ml/10a	* 小麦1～3葉期	雑草発生前～始期	
	19880	ガレスG	2,640～3,300	普・Bs	4～5 kg/10a	播種後発芽前	雑草発生前	1回
	22176	ゴーゴーサン乳剤	1,041～1,735	普・B	300～500ml/10a	播種後～小麦2葉期まで	イネ科雑草1葉期迄	1回(後作に注意)
	16458	ゴーゴーサン細粒剤F	2,630～3,156	普・B	5～6 kg/10a	播種後出芽前	雑草発生前	1回(後作に注意)
	22775	ボクサー	1,034～1,293	普・B	400～500ml/10a	播種後出芽前～出芽揃期	雑草発生前～始期	2回
雑草茎葉散布	8089	アクチノール乳剤	557～1,114	普・C	100～200ml/10a	穂ばらみ期まで	雑草生育初期	2回以内
	7684	MCPソーダ塩	230～345	普・A	200～300 g/10a	春小麦の5葉期	収穫45日前	1回
	16124	バサグラン液剤(ナトリウム塩)	403～807	普・A	100～200ml/10a	麦類の生育期(雑草3～6葉期)	収穫45日前	1回

(3) 大豆除草剂

	農薬番号	除 草 剤 名	反当薬価 (円/10a)	毒性・魚毒性	使 用 量	使 用 時 期	適正使用	使用回数
全面土壌 散布	22350	フルミオWDG	439～878	普・A	5～10 g/10a	播種後出芽前(一年生広葉雑草)	雑草発生前	1回
	22596	ラクサー乳剤	1,513～3,025	普・B	400～800ml/10a	播種後出芽前(一年生雑草)	雑草発生前	1回
	雑草茎葉又は全面土壌 20023	パワーガイザー液剤	890～1,335	普・A	200～300ml/10a	出芽直前～出芽揃期	雑草発生始～揃期	1回
	時間雑草茎葉散布 20023	パワーガイザー液剤	890～1,335	普・A	200～300ml/10a	生育期(雑草発生揃期～2葉期)	収穫30日前	1回
雑草茎葉 散布	15992	ナフ乳剤	705	普・B	200ml/10a	イネ科雑草6～8葉期(スズメノカタビラ除く)	収穫30日前	1回
	19966	ポルトフロアブル	577～865	普・Bs	200～300ml/10a	イネ科雑草3～10葉期(スズメノカタビラ除く)	収穫30日前	1回
	22577	セレクト乳剤	590～843	普・A	35～50 ml/10a	イネ科雑草3～5葉期(イネ科5～8葉期,50～75ml/10a)	収穫50日前	1回
	21487	大豆バサグラン液剤(ナトリウム塩)	433～650	普・A	100～150ml/10a	大豆2葉期～開花前(雑草生育初期～6葉期)	収穫45日前	1回
	注意事項 *フルミオWDGは、タンクやホース内に薬液が残らないよう使用後は速やかに専用の洗浄剤または消石灰で良く洗浄する。							
*パワーガイザー液剤は薬害を助長するのでイネ科雑草用茎葉処理剤や有機リン、有機塩素系殺虫剤との混用や10日以内の近接散布を避ける。 *パワーガイザー液剤には展着剤を加用しない。								
*大豆バサグランは300～500ml/10aで生育期の畦間処理も可。 *セレクト乳剤のみ、スズメノカタビラにも効果がある。(使用量50～75ml/10a)								

(4) 小豆除草剂

※反当薬価はJAなんぽろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。

(5) てんさい除草剤

[illegible]

(6)小麦成長調整剤

	農薬番号	薬 剤 名	反当薬価 (円/10a)	毒性・魚毒性	使 用 量	使 用 時 期	適正使用	使用回数
茎葉散布	23589	サイコセルPRO(秋まき小麦)	561~748	劇・A	150~200ml/10a	幼穂形成期	(水量 100L/10a)	1回
	23589	〃	748~1,121	劇・A	200~300ml/10a	出穂前20~10日(小麦の草丈40~60cm)	(水量 100L/10a)	1回
	23589	サイコセルPRO(春まき小麦)	561	劇・A	150ml/10a	6葉期前後(小麦の草丈30~40cm)	(水量 100L/10a)	1回
	20871	カルタイムフロアブル(秋・春まき小麦)	1,233~1,643	普・A	150~200ml/10a(秋まき)、150ml/10a(春まき)/止葉期~出穂始期		(水量 100L/10a)	1回
	13038	エスレル10(秋まき小麦)	1,233~2,053	普・A	200~333ml/100L/10a 200~333ml/25L/10a	止葉期~出穂始期	(水量 25Lまたは100L/10a)	1回
	13038	エスレル10(春まき小麦)	1,233~2,053	普・A	200~333ml/100L/10a 200ml/25L/10a	止葉期~出穂始期		1回
注意事項 *エスレル10の出穂始期とは出穂20%まで、また、専用ノズルを使用した少量散布も可。 *いずれの剤も散布適期を逃さないよう留意し、指定の薬量・濃度を守り均一散布につとめ、重複散布はしない。 *サイコセルPROは、高温時の散布は薬害を生じることがあるので、日中の散布を避ける。								

※反当薬価はJAなんぼろR2農薬年度当用価格(税込)より算出。 注意事項:イエスクリーン(Yes!clean)栽培では、別途栽培基準による。

* ラウンドアップマックスロード・タッチダウンiQ・クサトリキングは畦間処理に使用し、作物にドリフトすることがないように散布すること。

[illegible][illegible]

11. 果 樹 類 防 除 ガ イ ド (マイナー作物グループ化)

(1) 果樹類・作物指定無し

＜いずれの果樹類でも、病虫害の種類に応じた薬剤が使用できる＞

[illegible]

(2) 小粒核果類

果樹類(作物指定無し)からも選択して使用できる

作物名	農薬番号	農 薬 名	系統名	毒性・ 魚毒性	類 カイ ガラ ムシ	キ ク イ ム シ 類	コ ス カ シ バ	すす 斑 症	すす 斑 病	灰 色 か び 病	灰 星 病	環 紋 葉 枯 病	黒 星 病	葉 炭 そ 枝 枯 病 ・	適正使用基準	使用倍率
小 粒 核果類	12478	ガットキラー乳剤(うめ、すもも除く)	有機リン	普・B	—	●	●	—	—	—	—	—	—	—	休眠期(落葉後～萌芽前): 1回 14日: 2回 21日: 3回 21日: 3回 * 1,500倍(黒星病・黒粒枝枯病1,000～1,500倍) 30日: 3回	100倍
	23021	スプラサイド乳剤40	有機リン	劇・B	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—		1,500倍
	21292	オーソサイド水和剤80	キャプタン	普・C	—	—	—	●	—	—	—	—	●	—		800～1,000倍(すす斑病800倍)
	11574	トップジンM水和剤	MBC	普・A	—	—	—	—	—	—	●	●	●	●		21日: 3回 * 1,500倍(黒星病・黒粒枝枯病1,000～1,500倍)
	18821	ベルコート水和剤(うめ、すもも除く)	ゲアニジン	普・A	—	—	—	—	●	●	●	●	●	—		2,000倍
注意事項																
すもも等の「ふくろみ病」には、石灰硫黄合剤:発芽前／140倍散布(登録)																
参考事項(2) 果樹類(小粒核果類)登録農薬「農薬名のみ」																
トップジンMペースト、オーシャイン水和剤、モスピラン顆粒水溶剤、オリオン水和剤、石灰硫黄合剤、ダイアジノン水和剤、スカウトフロアブル、マイトコーネフロアブル、トモノールS。																

(3) ブルーベリー

果樹類(作物指定無し)からも選択して使用できる

作物名	農薬番号	農 薬 名	系統名	毒性・ 魚毒性	シコ 類ガ 幼ネ 虫ム	ムカ シイ ガラ	ガマイ マイ	エジシ ヨウ ウバ	斑点 病	病灰 色か び	－	－	－	－	適正使用基準	使用倍率
ブルーベリー	22634	ダイアジノン粒剤5	有機リン	普・Bs	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	14日：2回	6kg/10a (株元土壌混和) 3,000倍 1,000倍 2,000倍 4,000倍 600倍 3,000倍
	22151	ダズバンDF	有機リン	劇・C	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	14日：2回	
	22678	サイアノックス水和剤	有機リン	普・B	－	トクガ●	●	－	－	－	－	－	－	－	30日：2回	
	17852	アディオンフロアブル	合ピレ	普・C	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	前日：2回	
	22583	モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイド	劇・A	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	前日：1回	
	21247	オキシラン水和剤	キャブタン+銅	普・C	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	収穫終了後～落葉期：3回	
	22015	ストロビードライフロアブル	QoI	普・B	－	－	－	－	●	●	－	－	－	－	14日：2回	
	参考事項(3) 「ブルーベリー」の登録・・・バイオトピア、デルフィン顆粒水和剤。															

(4) 自 家 用 果 樹 の 防 除 法 :果樹類(作物指定無し)に掲載された薬剤は病虫害の種類に応じ散布可能である。

＜広範囲に使える薬剤を抽出＞

適正使用基準・使用倍率などラベルにて登録内容を必ず確認する。

作物名	農薬番号	農 薬 名	系統名	毒性・ 魚毒性	りんご	なし	ぶどう	おうとう (へんくちんぼ)	プ・すもも ラム	うめ	リ ブ ー ベ	プ ハ ス カ ッ
果 樹 殺虫剤	15957	アディオン乳剤	合ピレ	普・C		アブラムシ類、シンクイムシ類 ハマキムシ類 カメムシ類				アブラムシ類		ハマキムシ アブラムシ類
	4962	スミチオン乳剤	有機リン	普・B	アブラムシ類、ハマキムシ類 ヒメシンクイ、アメリカシロヒトリ モモシンクイ、クワコナカイガラ	アブラムシ類、カメムシ類 シンクイムシ類、クワコナカイガラ ハマキムシ類、ナシゲンバイ	アブラムシ類、ハマキムシ類 フタテンヒメコバイ、クワコナカイガラ ブドウスカシバ、キンケウチフトゾウムシ	アブラムシ類、ナシゲンバイ ハマキムシ類 アメリカシロヒトリ		アブラムシ類 アメリカシロヒトリ ハマキムシ類		
	14459	トアロー水和剤CT 果樹類：作物指定無し	BT (クルスターキー系)	普・A	ハマキムシ類 ヒメシロモンドクガ	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類
	19616	ゼンターリ顆粒水和剤 果樹類：作物指定無し	BT(アイザワイ系)	普・A	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類	ハマキムシ類
果 樹 殺菌剤	18821	ベルクート水和剤	イミダジン	普・A	黒星病、褐斑病 斑点落葉病、すす斑病 輪紋病、黒点病	黒斑病、うどんこ病 黒星病 輪紋病		灰星病	灰星病	すす斑病、枝枯病 灰色かび病、灰星病 黒星病、環紋葉枯病		
	11574	トップジンM水和剤	チオファネートメチル	普・A	黒星病、褐斑病 うどんこ病、腐らん病 黒点病、モニリア病	黒星病、輪紋病 うどんこ病 腐らん病	灰色かび病、黒とう病 褐斑病、晩腐病、芽枯病 うどんこ病	灰星病 せん孔病 幼果菌核病	灰星病 せん孔病 幼果菌核病	灰星病、黒星病 環紋葉枯病 葉炭疽病		
	4358	石灰硫黄合剤 落葉果樹に登録	石灰＋硫黄	普・A	モニリア病、腐らん病 うどんこ病、カイガラムシ類 黒星病、ハダニ類	黒星病 カイガラムシ類 ハダニ類	カイガラムシ類 ハダニ類 越冬病害虫	カイガラムシ類 ハダニ類 越冬病害虫	カイガラムシ類 ハダニ類 越冬病害虫	カイガラムシ類 ハダニ類 越冬病害虫	カイガラムシ類 ハダニ類 越冬病害虫	カイガラムシ類 ハダニ類 越冬病害虫
	21292	オーソサイド水和剤80	キャプタン	普・C	斑点落葉病、黒星病 輪紋病、炭疽病 すす斑病	赤星病、疫病 黒星病、炭そ病 輪紋病	晩腐病、べと病 褐斑病、黒とう病 灰色かび病	褐色せん孔病 灰星病 炭疽病	黒星病 すす斑病	黒星病 すす斑病	灰色かび病 斑点病	
	14498	スミレックス水和剤	ジカルボキシ	普・A	モニリア病			灰星病	灰星病			
	22631	フロンサイドSC (土壌灌注もあり：注意)	フルアジナム	普・C	斑点落葉病、すす点病、モニリア病 黒星病、すす斑病 輪紋病、褐斑病	黒星病、白紋羽病 黒斑病 輪紋病	晩腐病、黒とう病 枝膨病、べと病 灰色かび病	白紋羽病		黒星病 灰色かび病 白紋羽病		
注意事項 * コサイドボルドー(りんご、ぶどう、おうとう)、ICボルドー(ぶどう、おうとう、うめ)、クブラビットホルテ(なし、りんご)、園芸ボルドー(なし、ぶどう)、Zボルドー(りんご、すもも、ぶどう、おうとう、うめ)、などの登録がある。 * ブルーベリーにバイオトピア、オキシラン、デルフィン、"ダイアジノン粒剤5、"サイアノックス水和剤、"ストロビードライフロアブルの登録がある。ハスカップにテルスター、オキシラン、アディオンの登録がある(〃を附した薬剤は登録拡大)。 * BT剤は、掲載のほかに、果樹類(作物指定無し)の登録で、エスマルクDF、デルフィン顆粒水和剤がある。 * 樹種により適正使用基準および使用倍率を確認し使用すること。												

12. 花 き 類（花き類・観葉植物）防 除 ガ イ ド

（ 1 ） 花 き 類・観葉植物

作物名	農薬番号	農 薬 名	系統名	毒性・ 魚毒性	灰色 かび病	株 腐病	菌 核病	茎 腐病	黒 斑病	苗 立枯病	立 枯病	う ど ん こ 病	疫 病	半 身 萎 凋 病	適正使用基準	使用倍率	
花き類 ・ 観葉植物	23479/14390 5250	カスタード [®] 又はバスマイト [®] 微粒剤 ドロクロール	ダゾメット クロロピクリン(80%)	劇・A 劇・B	— —	● 株枯病●	一年生雑草●(20～60kg/10a) センチュウ類・ネキリムシ類●		● 萎凋病●	● ●	青枯病● 青枯病●	● ●	● ●	● ●	播種～定植前:1回 —:2回(床土1回、圃場1回)	20～30kg(青枯病30kg) 圃場2～3ml/穴	
	21292	オーソサイド水和剤80 ※1	キャプタン	普・C	—	—	—	●	—	●	●	—	—	—	—:8回	600倍	
	18358	カリグリーン(きくを除く)	炭酸水素カリ	普・A	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—	発病初期:—	800倍	
	17697	ゲッター水和剤(ひまわり・ゼラニウムを除く)	ジエトフ+ベンズイミ	普・A	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—:5回	1,000倍	
	9625	サンヨール ※2	DBEDC	普・B	●	アブラムシ・ハダニ類●				—	—	●	—	—	発生初期:8回	500倍	
	11574	トップジンM水和剤	ベンゾイミダゾール	普・A	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—:5回	1,500倍	
	19100	フルピカフロアブル	ペパニピリム	普・B	●	(※ばら、スターチス、宿根かすみそう、ゆり、りんどうを除く)									発病初期:5回	2,000～3,000倍	
	15176	ポリオキシシンAL水溶剤	抗生物質	普・—	●	ハダニ類●		—	●	—	—	●	—	—	発病初期:8回	2,500倍	
	15890	ポリベリン水和剤 ※3	イミノクダジン	普・A	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	発病初期:8回	1,000倍	
	19723	モレスタン水和剤(カーネを除く)	キノキサリン	普・B	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—	発病初期:10回	2,000～3,000倍	
	16558	リドミル粒剤2	メタラキシル	普・A	—	—	—	—	—	—	●	—	●	—	定植時又は生育期:3回	20kg/10a(土壌表面散布)	
	作物名	農薬番号	農 薬 名	系統名	毒性・ 魚毒性	ア オムシ	ア ブラムシ	オ オタバコガ	ミ オンシツコナジラ	ラ オンシツコナジ	カ メムシ	ハ ダニ類	ヨ トウムシ類	ア ザミウム類	ハ マキムシ	適正使用基準	使用倍率
	花き類 ・ 観葉植物	19993	オルトラン粒剤	有機リン	普・A	—	●	—	—	—	—	—	●(6kg)	●	—	発生初期:5回	株元散布 3～6kg/10a
		19103	ベストガード粒剤(きく・キンセンカを除く)	クロロコチニル	普・A	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	発生初期:4回	株元散布 1～2g/株
15957		アディオン乳剤(はばたんを除く)	合ピレ	普・B	—	●	—	—	—	●	—	●	—	●	発生初期:6回	2,000倍(アブラ2,000～4,000倍)	
18562		アドマイヤーフロアブル(きくを除く)	クロロコチニル	劇・A	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	発生初期:5回	2,000倍	
19842		アファーム乳剤	エマメクチオン	普・C	—	—	●	—	アザミウマ類●		—	●	—	—	発生初期:5回	1,000倍(アザミ2,000倍)	
19992		オルトラン水和剤	有機リン	普・A	●	●	—	—	—	—	—	●	●	—	発生初期:5回	1,000倍(アブラ・アザミ1,000～1,500倍)	
12455		*カルホス乳剤	有機リン	劇・B	—	—	—	●(若齢幼虫)	—	—	—	—	—	—	—:4回	1,000倍	
19186		コテツフロアブル(きく、ストックを除く)	呼吸障害	劇・B	—	—	—	ミカンキイロアザミウマ●		—	●	●	—	—	発生初期:2回	2,000倍	
23021		スプラサイド乳剤40	有機リン	劇・B	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	発生初期:6回	1,000倍	
4962		スミチオン乳剤	有機リン	普・B	●	—	—	—	—	—	—	—	●	●	—:6回	1,000倍	
21644		チェス顆粒水和剤	ピメロジン	普・A	—	●	—	—	●	—	—	—	—	—	発生初期:4回	5,000倍	
16094		ニッソラン水和剤	殺ダニ剤	普・B	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—:2回	2,000～3,000倍	
20388		粘着くん液剤	デンプン	普・A	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	発生初期:—	100倍(150～300L/10a)	
18345		ピラニカEW(カーネーション・きくを除く)	殺ダニ剤	劇・C	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	発生初期:1回	2,000倍	
19102	ベストガード水溶剤 ※4	クロロコチニル	普・A	—	●(2,000倍)		—	—	●	—	—	—	—	発生初期:4回	1,000倍		
2280	マラソン乳剤	有機リン	普・B	—	—	●	—	—	—	●	—	●	—	発生初期:6回	2,000～3,000倍		
17113	ロディー乳剤	合ピレ	劇・C	—	—	●	—	—	—	●	—	—	—	—:6回	1,000倍		

注意事項 *カルホス乳剤は、キク、ガーベラ、シクラメン、アジアンタムを除く(マツカイガラムシに効果あり)。
※1:オーソサイド水和剤80は、ばら・りんどう・せんにちそう・コスモス・ひまわり・シネリリア・スイートピー・みやこわすれ・アンスリウム・斑入りアマドコロを除いた登録内容である。
※2:サンヨールは、ばら・きく・ペチュニア・パンジー・スターチス・プリムラを除く登録内容である。
※3:ポリベリン水和剤は、ストック・スターチス・チューリップ・ばら・クルクマを除いた登録内容である。
※4:ベストガード水溶剤は、ポインセチア・きく・ばら・ユリを除いた登録内容である。

13. 樹木類防除ガイド(マイナー作物グループ化)

(1) 樹木類

作物名	農薬番号	農 薬 名	系統名	毒性・ 魚毒性	ア メ リ カ シ ロ ヒ ト リ	カ イ ガ ラ ム シ 類 幼 虫	オ ビ カ レ ハ	エ ダ シ ャ ク 類	チ ャ ノ ド ク ガ	マ イ マ イ ガ	マ ツ カ レ ハ	グ ン バ イ ム シ 類	ハ ダ ニ 類	ア ブ ラ ム シ 類	適正使用基準	使用倍率
樹木類 殺虫剤	19992	オルトラン水和剤	有機リン	普・A	—	—	—	—	—	アザミウマ類●		—	—	—	発生初期：5回	1,000倍
	23021	スプラサイド乳剤40	有機リン	劇・B	—	●	—	—	—	ケムシ類●(1,000倍)		—	—	—	発生初期：5回	1,000～1,500倍
	4962	スミチオン乳剤	有機リン	普・B	●	—	—	—	—	フラーバラゾウムシ●		●	—	●	—：6回	1,000倍(アメリカシロヒトリ500～1,000倍)
	4262	ダイアジノン水和剤34	有機リン	劇・Bs	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	発生初期：4回	1,000～1,500倍
	14459	トアロー水和剤CT	BT(クルスターキー系)	普・A	●	—	—	—	—	イガ類●		—	—	—	発生初期：—	1,000～2,000倍(イガ類1,000倍)
	17167	トレボン乳剤	合ピレ	普・B	—	—	●(2,000倍)	シャクトリムシ類●(4,000倍)	ケムシ類●(4,000倍)		—	—	—	—	幼虫発生期：6回	2,000～4,000倍
	12455	*カルホス乳剤	有機リン	劇・C	カイガラムシ類●		ケムシ類●	—	—	—	—	—	—	—	—：6回	1,000倍
樹木類	16300	トリフミン水和剤	DMI(トリフミゾール)	普・B	うどんこ病 ●		—		—						発病初期：5回	3,000倍
殺菌剤	13411	トップジンMペースト	ベンズイミダゾール	普・A	—		ゆ合促進 ●		—						枝切除後：1回	原液塗布
	11574	*トップジンM水和剤	ベンズイミダゾール	普・A	斑点症・ごま色斑点病・輪紋葉枯病●				炭そ病 ●(1,000～1,500倍)		うどんこ病●				発病初期：5回	1,000倍
樹木類 除草剤	9512	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン	普・Bs	1年生雑草(ツユクサ科・カヤツリグサ科・キク科・アブラナ科を除く) 雑草発生前 畦間・株間土壌散布										植付後、生育期(雑草発生前)：2回	4～5kg/10a
	7327	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン	普・Bs	1年生雑草(ツユクサ科・カヤツリグサ科・キク科・アブラナ科を除く) 雑草発生前 畦間・株間土壌散布										植付後、生育期(雑草発生前)：2回	200～300ml/10a
	20958	バスタ液剤	ゲルホシネート	普・A	1年生雑草										雑草生育期：3回	300～500ml/10a
	21766	ラウンドアップマックスロード	グリホサート	普・A	1年生雑草(多年生雑草500～1,000ml/10a、スギナ1,500～2,000ml/10a)										雑草生育期：4回	200～500ml/10a
	22161	タッチダウンIQ	グリホサート	普・A	1年生雑草(草丈30cm以下)										雑草生育期：4回	250～500ml/10a
注意事項	*カルホス乳剤は、樹木類(まさき、もっこく、すぎを除く)の登録内容である。 *トアロー水和剤CTは樹木類(つばき類を除く)の登録内容である。				*トップジンM水和剤は樹木類(つつじ類・かし・さくら・じんちょうげ・ぼけ・ポプラ・いぬつげを除く)の登録内容である。 *トレボン乳剤は樹木類(つつじ類・ポインセチア・ソテツを除く)の登録内容である。											

農 薬 散 布 の 基 本 技 術

1. 農薬散布前のチェック

- ・農薬のラベルは確認しましたか？
- ・使用する農薬はドリフト（飛散）の可能性がありませんか？
- ・周辺圃場に栽培されている作物は確認しましたか？
- ・近隣の生産者と連絡をとっていますか？
- ・適用作物・希釈倍数・収穫前日数・使用回数等に問題ありませんか？
- ・近接作物にも登録がある農薬で代用できませんか？
- ・収穫時期が近い作物はありませんか？
- ・収穫時期が近い作物がある場合は散布日を調整していますか？
（遮蔽シート・ネットなどの利用も有効です）

2. 農薬散布時のチェック

- ・散布器具はきれいに洗浄してありますか？
- ・風の強さ・向きは確認しましたか？
- ・調整した散布液は適切な量ですか？
- ・散布圧力や風量は適切ですか？
- ・前回使用した農薬は残っていませんか？
- ・風の強い日に散布していませんか？
- ・必要以上に多く散布していませんか？
- ・必要以上に圧力・風量をあげていませんか？
（飛散低減タイプのノズルの使用も有効です）

3. 農薬散布後のチェック

- ・生産履歴（農薬を使用した①月日、②圃場、③作物、④農薬名、⑤使用量または濃度、⑥使用回数など）をきちんと記録しましたか？
- ・使用器具はきちんと洗浄しましたか？

4. 収穫時のチェック

- ・農薬を使用した日から収穫した日まで決められた日数をあけていますか？
- ・農薬の付着した手袋や器具等が収穫物に触れていませんか？
- ・生産履歴は、きちんと提出していますか？

★★★ 「リスクをゼロにすることは困難ですが、食の安全・安心を確保するために生産者ひとりひとりが気をつけましょう」 ★★★